

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅰ・A	単位数	5単位
		学年等	1年生普通

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	数学Ⅰの分野においては、数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。数学Aの分野においては、図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深める。さらに、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教科書 副教材等	教科書:数研出版 「高等学校 数学Ⅰ」「高等学校 数学A」 副教材:数研出版 「4 プロセス 数学Ⅰ+A」 「練習ドリル 数学Ⅰ 標準編」 「練習ドリル 数学A 標準編」 ベネッセ 「Classi(クラッシー)」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	数と式、図形と計量、2次関数、データの分析、図形の性質及び場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学Ⅰでは、命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 数学Aでは、図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	数学 I 第1章 数と式 第2章 集合と命題 第3章 2次関数 図形と計量	・定期考査 ・学びの基礎診断 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出状況 ・授業中の観察
	評価点	100	100	100
2 学期	第4章 図形と計量 第5章 データの分析 数学 A 第1章 場合の数と確率 図形の性質	・定期考査 ・学びの基礎診断 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出状況 ・授業中の観察
	評価点	100	100	100
3 学期	第2章 図形の性質 第3章 数学と人間の活動	・定期考査 ・学びの基礎診断 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出状況 ・授業中の観察
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	数学 I 第1章 数と式 第1節 式の計算 パフォーマンス課題1 x、yの2次式の因数分解 第2節 実数 第3節 1次不等式	17
	5	第2章 集合と命題 パフォーマンス課題2 必要条件、十分条件 パフォーマンス課題3 鳩の巣原理 1学期中間考査	8
	6	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 第2節 2次関数の値の変化 第3節 2次方程式と2次不等式 パフォーマンス課題4 2次関数のグラフとx軸の交点の条件	27
	7	第4章 図形と計量 第1節 三角比 1学期期末考査	8

2 学 期	7	第4章 図形と計量 第2節 三角形への応用 パフォーマンス課題5 正弦定理・余弦定理	13
	8	第5章 データの分析 パフォーマンス課題6 回帰分析	10
	9	数学 A 第1章 場合の数と確率	16
	10	第1節 場合の数 パフォーマンス課題7 完全順列 2学期中間考査	23
	11	第2節 確率 パフォーマンス課題8 直感と確率	8
	12	第2章 図形の性質 第1節 平面図形 2学期期末考査	
3 学 期	12	第2章 図形の性質	22
	1	第1節 平面図形 パフォーマンス課題9 頂点から向かい合う辺に下した垂線 第2節 空間図形 パフォーマンス課題10 算額	
	2 3	第3章 数学と人間の活動 学年末考査	23

5 その他

パフォーマンス課題については、単元テストやタブレット端末を用いた調べ学習など、様々な形態で実施します。
試験範囲については、授業の進度により前後する場合があります。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅰ・A	単位数	5単位
		学年等	1年生体育

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	数学Ⅰの分野においては、数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。数学Aの分野においては、図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深める。さらに、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教科書 副教材等	教科書:数研出版 「新編 数学Ⅰ」「新編 数学A」 副教材:数研出版 「Study-Up ノート 数学Ⅰ+A」 「練習ドリル 数学Ⅰ 基本から標準編」 「練習ドリル 数学A 基本から標準編」 ベネッセ 「Classi(クラッシー)」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	数と式、図形と計量、2次関数、データの分析、図形の性質及び場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学Ⅰでは、命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 数学Aでは、図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎。養う。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	数学 I 第4章 数と式 第5章 集合と命題 第6章 2次関数 図形と計量	・定期考査 ・学びの基礎診断 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出状況 ・授業中の観察
	評価点	100	100	100
2 学期	第6章 図形と計量 第7章 データの分析 数学 A 第2章 場合の数と確率 図形の性質	・定期考査 ・学びの基礎診断 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出状況 ・授業中の観察
	評価点	100	100	100
3 学期	第4章 図形の性質 第5章 数学と人間の活動	・定期考査 ・学びの基礎診断 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出状況 ・授業中の観察
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	数学 I 第5章 数と式 第4節 式の計算	17
	5	第5節 実数 第6節 1次不等式 第6章 集合と命題	8
		パフォーマンス課題1 x, y の2次式の因数分解 パフォーマンス課題2 必要条件、十分条件 パフォーマンス課題3 鳩の巣原理 1学期中間考査	
	6	第7章 2次関数 第4節 2次関数とグラフ 第5節 2次関数の値の変化 第6節 2次方程式と2次不等式	27
		パフォーマンス課題4 2次関数のグラフとx軸の交点の条件	
	7	第8章 図形と計量 第1節 三角比 1学期期末考査	8

2 学 期	7	第5章 図形と計量		13
	8	第2節 三角形への応用	パフォーマンス課題5 正弦定理・余弦定理	
		第5章 データの分析	パフォーマンス課題6 回帰分析	10
	9	数学 A		
		第3章 場合の数と確率		16
		第1節 場合の数	パフォーマンス課題7 完全順列	
			2学期中間考査	
	10	第2節 確率	パフォーマンス課題8 直感と確率	23
	11	第4章 図形の性質		8
		第2節 平面図形		
	12		2学期期末考査	
3 学 期	12	第4章 図形の性質		22
	1	第1節 平面図形	パフォーマンス課題9 頂点から向かい合う辺に下した垂線	
		第2節 空間図形	パフォーマンス課題 10 算額	
	2 3	第5章 数学と人間の活動		23
			学年末考査	

5 その他

パフォーマンス課題については、単元テストやタブレット端末を用いた調べ学習など、様々な形態で実施します。
試験範囲については、授業の進度により前後する場合があります。

令和 7 年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅱ + B	単位数	5単位
		学年等	2年生文型

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、三角関数、微分法と積分法、数列、平面上のベクトル及び空間のベクトルの考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教科書 副教材等	教科書：数研出版「高等学校 数学Ⅱ」「高等学校 数学 B」 副教材：数研出版「4プロセス数学Ⅱ + B + C」 「練習ドリル数学Ⅱ」「練習ドリル数学 B」 リクルート「スタディサプリ」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、三角関数、微分法と積分法、数列、平面上のベクトル及び空間のベクトルについての基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に解釈・表現・処理する技能が身についている。	複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、三角関数、微分法と積分法、数列、平面上のベクトル及び空間のベクトルの構成要素と他の単元との関連に着目し、ひとつの問題に対して多面的・多角的な見方を通して、数理的に考察する力が身についている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	数学Ⅱ 第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式	・定期考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出 ・授業観察
	評価点	100	100	100
2	第4章 三角関数 第5章 指数関数と対数関数 第6章 微分法と積分法	・定期考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出 ・授業観察
	評価点	100	100	100
3	第6章 微分法と積分法 数学 B 第1章 数列	・定期考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出 ・授業観察
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1		数学Ⅱ	
		第2章 複素数と方程式	
		第1節 複素数と2次方程式の解	25
		第2節 高次方程式	
		第3章 図形と方程式	
		第1節 点と直線	31
		第2節 円	
2		第3節 軌跡と領域	
		第4章 三角関数	
		第1節 三角関数	24
		第2節 加法定理	
		第5章 指数関数と対数関数	
		第1節 指数関数	28
		第2節 対数関数	
3		第6章 微分法と積分法	
		第1節 微分係数と導関数	28
		第2節 関数の値の変化	
		第3節 積分法	
		第6章 微分法と積分法	7
		第3節 積分法	
		数学 B	
		第1章 数列	
		第1節 数列とその和	32
		第2節 数学的帰納法	

5 その他

パフォーマンス課題は、授業の進度の都合上、実施時期が前後するなど、予定が変更となる場合があります。

パフォーマンス課題は、単元テストに含める形や、課題としての提出など、様々な形態で実施します。

考查範囲については、授業の進度により前後する場合があります。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅱ	単位数	4単位
		学年等	2年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、三角関数、微分法と積分法、数列、平面上のベクトル及び空間のベクトルの考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教科書 副教材等	教科書:数研出版「高等学校 数学Ⅱ」 副教材:数研出版「4プロセス数学Ⅱ+B+C」 リクルート「スタディサプリ」 「練習ドリル数学Ⅱ」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、三角関数、微分法と積分法、数列、平面上のベクトル及び空間のベクトルについての基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に解釈・表現・処理する技能が身についている。	複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、三角関数、微分法と積分法、数列、平面上のベクトル及び空間のベクトルの構成要素と他の単元との関連に着目し、ひとつの問題に対して多面的・多角的な見方を通して、数理的に考察する力が身についている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式	・定期考査 ・学びの基礎診断 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出 ・授業観察
	評価点	100	100	100
2 学期	第3章 図形と方程式 第4章 三角関数 第5章 指数関数と対数関数	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出 ・授業観察
	評価点	100	100	100
3 学期	第5章 指数関数と対数関数 第6章 微分法と積分法	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出 ・授業観察
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期		数学Ⅱ	
		第1章 式と証明 第2節 等式・不等式の証明	18
		第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式	18
		第3章 図形と方程式 第1節 点と直線	8
2 学 期		第3章 図形と方程式 第2節 円 第3節 軌跡と領域第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	27
		第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	19
		第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数	15
		第2節 対数関数	9
		第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	26
3 学 期			

5 その他

パフォーマンス課題は、授業の進度の都合上、実施時期が前後するなど、予定が変更となる場合があります。

パフォーマンス課題は、単元テストに含める形や、課題としての提出など、様々な形態で実施します。

考查範囲については、授業の進度により前後する場合があります。

様式7

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅱ	単位数	3単位
		学年等	2年生体育コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、三角関数、微分法と積分法、数列、平面上のベクトル及び空間のベクトルの考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教科書 副教材等	教科書:数研出版「新編 高等学校 数学Ⅱ」 副教材:数研出版「StudyUp 数学Ⅱ」 リクルート「スタディサプリ」 「練習ドリル数学Ⅱ」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	式と計算、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、三角関数、微分法と積分法、数列、平面上のベクトル及び空間のベクトルについての基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に解釈・表現・処理する技能が身についている。	複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、三角関数、微分法と積分法、数列、平面上のベクトル及び空間のベクトルの構成要素と他の単元との関連に着目し、ひとつの問題に対して多面的・多角的な見方を通して、数理的に考察する力が身についている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	第1節 式と計算 第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式	・定期考査 ・学びの基礎診断 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出 ・授業観察
	評価点	100	100	100
2 学 期	第3章 図形と方程式 第4章 三角関数 第5章 指数関数と対数関数	・定期考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出 ・授業観察
	評価点	100	100	100
3 学 期	第5章 指数関数と対数関数 第6章 微分法と積分法	・定期考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出 ・授業観察
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期		数学Ⅱ	
		第2章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明	14
		第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線	14 6
2 学 期		第3章 図形と方程式 第2節 円 第3節 軌跡と領域第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	19
		第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	14
		第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数	11
3 学 期		第2節 対数関数 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	6 21

5 その他

パフォーマンス課題は、授業の進度の都合上、実施時期が前後するなど、予定が変更となる場合があります。

パフォーマンス課題は、単元テストに含める形や、課題としての提出など、様々な形態で実施します。

考查範囲については、授業の進度により前後する場合があります。

様式7

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅲ+B+C	単位数	6単位
		学年等	3年生生理型

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	数学Ⅲでは、数学ⅡBの既習事項を発展させた微分法、積分法について理解させる。数学Bでは数学Ⅰでのデータの分析で取り扱った内容を踏まえながら確率の理論を統計に応用した概念を理解させる。 数学Cでは、図形の見方を発展的に捉えた複素数平面の概念と、さまざまな2次曲線・曲線の媒介変数表示、極座標について理解させる。学習の中で、基礎的な知識の習得と技能を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養い伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教科書 副教材等	教科書：数研出版「高等学校 数学Ⅲ」、「高等学校 数学B」、「高等学校 数学C」 副教材：数研出版「新課程 4プロセス 数学Ⅲ」、「新課程 4プロセス 数学Ⅱ+B+C」 ラーズ「共通テスト対策 実力養成 重要問題演習」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に解釈・表現・処理する技能が身についている。	構成要素と他の単元との関連に着目し、ひとつの問題に対して多面的・多角的な見方を通して、数理的に考察する力が身についている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価点	210	210	210

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	数学C 第3章 複素数平面	・定期考査	・定期考査	・課題考査
	数学C 第4章 式と曲線	・小テスト	・パフォーマンス課題	・課題提出
	数学Ⅲ 第1章 関数			・授業観察
	数学Ⅲ 第2章 極限			
	評価点	100	100	100
2 学期	数学Ⅲ 第3章 微分法	・定期考査	・定期考査	・課題考査
	数学Ⅲ 第4章 微分法的应用	・小テスト	・パフォーマンス課題	・課題提出
	数学Ⅲ 第5章 積分法とその応用			・授業観察
	評価点	100	100	100
3 学期	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・Cの総復習	・課題提出 ・授業観察	・課題提出 ・授業観察	・課題提出 ・授業観察
	評価点	10	10	10

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	数学 C 第3章 複素数平面	14
	5	第4章 式と曲線 第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標	19
	6	数学Ⅲ 第1章 関数 第2章 極限 第1節 数列の極限 第2節 関数の極限	7 20
	7	第3章 微分法 第1節 導関数	5
2 学 期	8	数学Ⅲ 第3章 微分法	25
	9	第1節 導関数 第2節 いろいろな関数の導関数	
	10	第4章 微分法の実用 第1節 導関数の応用 第2節 いろいろな応用	
	11	第5章 積分法とその応用 第1節 不定積分 第2節 定積分 第3節 積分法の応用	30
	12	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C の総復習	25
3 学 期	1	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C の総復習	45
	2		
	3		

5 その他

パフォーマンス課題は、授業の進度の都合上、実施時期が前後するなど、予定が変更となる場合があります。

パフォーマンス課題は、単元テストに含める形や、課題としての提出など、様々な形態で実施します。

考查範囲については、授業の進度により前後する場合があります。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学総合演習 + B + C	単位数	6単位
		学年等	3年生理型

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	数学Bでは数学 I でのデータの分析で取り扱った内容を踏まえながら確立の理論を統計に応用した概念を理解させる。数学Cでは、図形の見方を発展的に捉えた複素数平面の概念と、さまざまな2次曲線・曲線の媒介変数表示、極座標について理解させる。学習の中で、基礎的な知識の習得と技能を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養い伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教科書 副教材等	教科書：数研出版「高等学校 数学 B」、「高等学校 数学 C」 副教材：数研出版「新課程 4プロセス 数学Ⅱ + B + C」 「新課程 シニア数学演習 I・Ⅱ・A・B・C」 ラーンズ「共通テスト対策 実力養成 重要問題演習」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に解釈・表現・処理する技能が身についている。	構成要素と他の単元との関連に着目し、ひとつの問題に対して多面的・多角的な見方を通して、数理的に考察する力が身についている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価点	230	230	230

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	数学 C 第3章 複素数平面 数学 C 第4章 式と曲線	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出 ・授業観察
	評価点	100	100	100
2 学 期	数学 I・Ⅱ・A・B・C の総復習	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出 ・授業観察
	評価点	100	100	100
3 学 期	数学 I・Ⅱ・A・B・C の総復習	・課題提出 ・授業観察	・課題提出 ・授業観察	・課題提出 ・授業観察
	評価点	10	10	10

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	数学 C 第3章 複素数平面	15
	5	第4章 式と曲線 第1節 2次曲線	20
	6	第2節 媒介変数表示と極座標	25
	7	数学 I・II・A・B・C の総復習	
2 学 期	8	数学 I・II・A・B・C の総復習	105
	9		
	10		
	11		
	12		
3 学 期	1	数学 I・II・A・B・C の総復習	45
	2		
	3		

5 その他

パフォーマンス課題は、授業の進度の都合上、実施時期が前後するなど、予定が変更となる場合があります。
 パフォーマンス課題は、単元テストに含める形や、課題としての提出など、様々な形態で実施します。
 考査範囲については、授業の進度により前後する場合があります。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学基礎演習・B	単位数	3単位
		学年等	3年生文型

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数値化したり、数学的に表現・処理したりする発展的な技能を身に付けるようにする。 (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する発展的な力を養う。 (3) 数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性を養う。
使用教科書 副教材等	教科書：数研出版「高等学校 数学Ⅰ」、「高等学校 数学Ⅱ」、「高等学校 数学Ⅲ」、「高等学校 数学Ⅳ」 副教材：ラーンズ「共通テスト対策 実力養成 重要問題演習」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの各項目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身についている。	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの構成要素と他の単元との関連に着目し、ひとつの問題に対して多面的・多角的な見方を通して、数理的に考察する力が身についている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う
評価点	210	210	210

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	数学Ⅲ 第2章 統計的な推測 数学Ⅰ・Ⅱ 数と式、2次関数、図形と計量 データと分析、場合の数と確率、図形の性質	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出 ・授業観察
	評価点	100	100	100
2 学 期	数学Ⅱ・Ⅲ 式と証明、複素数と方程式、図形と方程式 三角関数、指数関数・対数関数 微分法・積分法、数列 総合演習	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出 ・授業観察
	評価点	100	100	100
3 学 期	総合演習	小テスト	小テスト	・課題提出 ・授業観察
	評価点	10	10	10

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布	15
	5	第2節 統計的な推測 パフォーマンス課題	
		1学期中間考査	
	6	● 数学Ⅰ・A 総合演習 パフォーマンス課題	21
	7	● 1学期期末考査	
2 学期	8	数学Ⅱ・B 総合演習	24
	9	パフォーマンス課題	
	10	● 2学期中間考査	
		数学Ⅰ・A・Ⅱ・B 総合演習	24
	11	パフォーマンス課題	
	12	● 2学期期末考査	
3 学期	1 2 3	数学Ⅰ・A・Ⅱ・B 総合演習	21

5 その他

- 総合演習は既習事項の振り返りながら、より理解を深めていきます。
- 基本事項を整理しつつ、それらを複合的に利用して応用的な事象を考察していきましょう。
- 学習の基本は繰り返しです。理解したと思っても繰り返し考えることでより深い理解へと進化させましょう。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学 C	単位数	2単位
		学年等	3年生文型

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	、図形の見方を発展的に捉えた複素数平面の概念と、さまざまな2次曲線・曲線の媒介変数表示、極座標について理解させる。学習の中で、基礎的な知識の習得と技能を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養い伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教科書 副教材等	教科書:数研出版「高等学校 数学 C」 副教材:数研出版「4プロセス数学Ⅱ+B+C」 数研出版「練習ドリル 数学 C(ベクトル)」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	平面上のベクトル及び空間のベクトルについての基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に解釈・表現・処理する技能が身についている。	平面上のベクトル及び空間のベクトルの構成要素と他の単元との関連に着目し、ひとつの問題に対して多面的・多角的な見方を通して、数理的に考察する力が身についている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価点	210	210	210

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	数学 C 第1章 平面上のベクトル	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出 ・授業観察
	評価点	100	100	100
2 学期	数学 C 第2章 空間のベクトル ベクトルの復習と問題演習	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出 ・授業観察
	評価点	100	100	100
3 学期	数学 C ベクトルの復習と問題演習	・課題提出 ・授業観察	・課題提出 ・授業観察	・課題提出 ・授業観察
	評価点	10	10	10

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	第1章平面上のベクトル 第1節ベクトルとその演算 ・ベクトル ・ベクトルの演算	5
	5	・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積	7
	6	第2節ベクトルと平面図形 ・位置ベクトル ・ベクトルの図形への応用	7
	7	・図形のベクトルによる表示	5
2 学 期	8	第2章空間のベクトル ・空間の点	2
	9	・空間のベクトル ・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積	8
	10	・ベクトルの図形への応用 ・座標空間における図形	8
	11	数Cの問題演習	9
	12		4
3 学 期	1	数Cの問題演習	7
	2		8

5 その他

パフォーマンス課題は、授業の進度の都合上、実施時期が前後するなど、予定が変更となる場合があります。

パフォーマンス課題は、単元テストに含める形や、課題としての提出など、様々な形態で実施します。

考查範囲については、授業の進度により前後する場合があります。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学演習	単位数	2単位
		学年等	3年生体育

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする基礎的な技能を身に付けるようにする。 (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する基礎的な力を養う。 (3) 数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
使用教科書 副教材等	教科書:数研出版「最新 数学Ⅰ」,「最新 数学A」 副教材:ラーンズ「進研 WINSTEP 数学Ⅰ・A Basic 新課程版」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	数学ⅠAの各項目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身についている。	1つの問題に対して多面的・多角的な見方を通して、数理的に考察する力が身についている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価点	210	210	210

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	数学ⅠAの全項目の基礎分野	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出 ・授業観察
	評価点	100	100	100
2 学期	数学ⅠAの全項目の応用分野	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出 ・授業観察
	評価点	100	100	100
3 学期	数学ⅠAの全項目の総合演習	・課題提出 ・授業観察	・課題提出 ・授業観察	・課題提出 ・授業観察
		10	10	10

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	<基礎的分野> UNIT1 数と式	11
	5	UNIT2 2次関数 パフォーマンス課題 UNIT3 図形と計量 1学期中間考査	
	6	●	
	7	UNIT4 データの分析 UNIT5 場合の数と確率 パフォーマンス課題 UNIT6 図形の性質 1学期期末考査	13
		●	
2 学 期	8	<応用的分野>	15
	9	UNIT1 数と式	
	10	UNIT2 2次関数 パフォーマンス課題 UNIT3 図形と計量 1学期中間考査	
	11	●	
	12	UNIT4 データの分析 UNIT5 場合の数と確率 パフォーマンス課題 UNIT6 図形の性質 1学期期末考査	16
		●	
3 学 期	1	総合演習	15
	2		
	3		

5 その他

- 数学ⅠA 演習は既習事項の振り返りながら、より理解を深めていきます。
- 基本事項を整理しつつ、それらを複合的に利用して応用的な事象を考察していきましょう。
- 学習の基本は繰り返しです。理解したと思っても繰り返し考えることでより深い理解へと進化させましょう。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学ⅡC	単位数	2単位
		学年等	3年生体育

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (4) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする基礎的な技能を身に付けるようにする。 (5) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する基礎的な力を養う。 (6) 数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
使用教科書 副教材等	教科書：数研出版「最新 数学Ⅱ」,「最新 数学C」 副教材：ラーンズ「Study Up 数学C」、数研出版「練習ドリル 数学C(ベクトル)」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	数学ⅡC の各項目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身についている。	1つの問題に対して多面的・多角的な見方を通して、数理的に考察する力が身についている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価点	210	210	210

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	数学ⅡC 平面ベクトル	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出 ・授業観察
	評価点	100	100	100
2 学期	数学ⅡC 空間ベクトル	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出 ・授業観察
	評価点	100	100	100
3 学期	数学ⅡC の全項目の総合演習	・課題提出 ・授業観察	・課題提出 ・授業観察	・課題提出 ・授業観察
		10	10	10

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	<基礎的分野> 平面ベクトル 演算、和と差、実数倍	11
	5	成分、内積 パフォーマンス課題 1学期中間考査	
	6	● 平面図形への応用 位置ベクトル、直線の交点	
	7	ベクトルの終点の存在範囲 パフォーマンス課題 1学期期末考査 ●	13
2 学 期	8	<応用的分野>	15
	9	空間ベクトル 成分、内積、空間図形への応用 パフォーマンス課題	
	10	● 1学期中間考査	
	11	座標空間における図形 実践問題 パフォーマンス課題	16
	12	● 1学期期末考査	
3 学 期	1 2 3	総合演習	15

5 その他

パフォーマンス課題は、授業の進度の都合上、実施時期が前後するなど、予定が変更となる場合があります。
パフォーマンス課題は、単元テストに含める形や、課題としての提出など、様々な形態で実施します。
考査範囲については、授業の進度により前後する場合があります。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学 B	単位数	2単位
		学年等	3年生体育

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数値化したり、数学的に表現・処理したりする基礎的な技能を身に付けるようにする。 (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する基礎的な力を養う。 (3) 数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
使用教科書 副教材等	教科書：数研出版「最新 数学 B」 副教材：ラーンズ「StudyUp 数学 B」、数研出版：「練習ドリル 数学 B」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	数学 B「数列、統計的な推測」の各項目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身についている。	1 つの問題に対して多面的・多角的な見方を通して、数理的に考察する力が身についている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価点	210	210	210

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	数学 B 数列	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出 ・授業観察
	評価点	100	100	100
2 学期	数学 B 統計的な推測	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・課題考査 ・課題提出 ・授業観察
	評価点	100	100	100
3 学期	数学 B の全項目の総合演習	・課題提出 ・授業観察	・課題提出 ・授業観察	・課題提出 ・授業観察
		10	10	10

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	<基礎的分野> 等差数列、等比数列 パフォーマンス課題 1学期中間考査	11
	5	●	
	6	いろいろな数列 パフォーマンス課題 1学期期末考査	13
	7	●	
2 学 期	8	<応用的分野>	15
	9	確率変数、二項分布 パフォーマンス課題 1学期中間考査	
	10	●	
	11	推定、仮設検定 パフォーマンス課題 1学期期末考査	
3 学 期	12	●	16
	1	総合演習	
	2 3		

5 その他

- 数学 B は「数列」と「統計的な推測」について数理的なものの見方と考え方を養い、理解を深めていきます。
- 基本事項を整理しつつ、それらを複合的に利用して応用的な事象を考察していきましょう。
- 学習の基本は繰り返しです。理解したと思っても繰り返し考えることでより深い理解へと進化させましょう。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	化学基礎	単位数	2単位
		学年等	1年生普通

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。 (1)原子の構造及び電子配置と周期律との関係性を理解させる。また、物質の性質について観察、実験などを通して探究し、化学結合と物質の性質との関係を理解させ、物質について微視的な見方ができるようにする。 (2)化学反応の量的関係、酸と塩基の反応及び酸化還元反応について観察、実験などを通して探究し、化学反応に関する概念や法則を理解させるとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。
使用教科書 副教材等	教科書:数研出版 新編 化学基礎 副教材:東京書籍 新課程 ニューアチーブ化学基礎

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、物質の構成と化学結合、物質の変化について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために観察、実験などに関する基本的操作や記録などの基本的技能を身につけている。	物質の構成と化学結合、物質の変化について問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物質の構成と化学結合、物質の変化について主体的に関わり、見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	250 点	250 点	250 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	1編 物質の構成と化学結合 1章 物質の構成 2章 物質の構成粒子 3章 粒子の結合	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・提出物	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・提出物、授業態度等
		100 点	100 点	100 点
2 学 期	3章 粒子の結合 2編 物質の変化 1章 物質と化学変化 2章 酸と塩基の反応	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・提出物	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・提出物、授業態度等
		100 点	100 点	100 点
3 学 期	3章 酸化還元反応	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・提出物	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・提出物、授業態度等

		50点	50点	50点
--	--	-----	-----	-----

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	1編 物質の構成と化学結合 1章 物質の構成 ①純物質と混合物 ②物質とその成分	8
	5	2章 物質の構成粒子 ①原子とその構造 1学期中間考査	2
		②イオン ③元素の周期表	4
	6	3章 粒子の結合 ①イオン結合とイオンからなる物質	10
	7	②分子と共有結合 ③共有結合結晶 1学期期末考査	
2 学期	8	④金属結合と金属	2
		2編 物質の変化	12
	9	1章 物質と化学変化 ①原子量・分子量・式量 ②物質質量 ③溶液の濃度	
	10	④化学反応式と物質質量 【実験】化学反応の量的関係を調べる 2学期中間考査	
		2章 酸と塩基の反応 ①酸と塩基 ②水の電離と水溶液の pH ③中和反応 【実験】中和滴定 ④塩 2学期期末考査	14
3 学期	1	3章 酸化還元反応 ①酸化と還元	18
	2	②酸化剤と還元剤 【実験】酸化剤と還元剤の反応を観察する ③金属の酸化還元反応	
	3	④酸化還元反応の利用 学年末考査	

5 その他

- ・毎時間、必ず予習を行ってから授業に臨み、授業中もきちんとノートをとること。
- ・配られるプリント類はきちんと整理すること。
- ・計算問題・課題等は必ず自力で解くこと。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	科学と人間生活	単位数	2単位
		学年等	1年生体育

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な物事・現象に関する観察、実験などを通して理解し、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。
使用教科書 副教材等	教科書:高等学校 科学と人間生活(第一学習社) 副教材:新課程版 ネオパルノート科学と人間生活(第一学習社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・科学における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、知識を身につけている。 ・事象を科学的に考察し表現・処理する仕方や推論の方法を身につけ、問題を手際よく解決する技能を身につけている。	科学についての基本的な概念や原理・法則などの習得や活用を通して、科学的な見方や考え方を身につけている。問題解決に当たり、いろいろな角度や観点から考察し科学的な考え方を念頭に置いて問題を分析・整理するようにしている。	科学や科学現象について、興味や関心をもち、科学的事象の考察に積極的に活用し、科学的論拠に基づいて判断しようとする。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	序章 科学技術の発展 第Ⅰ章 物質の科学	・定期考査等	・定期考査等 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート
	評価点	120	120	120
2 学期	第Ⅱ章 生命の科学 第Ⅲ章 熱や光の科学	・定期考査等	・定期考査等 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート
	評価点	120	120	120
3 学期	第Ⅳ章 地球や宇宙の科学	・定期考査等	・定期考査等 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート
	評価点	60	60	60

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	序章 科学技術の発展	4
	5	第Ⅰ章 物質の科学 第1節 材料とその利用	16
	6	第2節 衣料と食品	
	7	1 学期期末考査	
2 学 期	8	第Ⅱ章 生命の科学 第1節 ヒトの生命現象	16
	9		
	10	第2節 微生物とその利用 2 学期中間考査	
	11	第Ⅲ章 熱や光の科学 第1節 熱の性質とその利用	16
	12	第2節 光の性質とその利用 2 学期期末考査	
3 学 期	1	第Ⅳ章 地球や宇宙の科学 第1節 自然景観と自然災害	18
	2		
	3	第2節 太陽と地球 学年末考査	

5 その他

- ・定期考査・小テスト・提出物(課題・実験レポート)・授業態度等を総合的に判断して評価します。
- ・集中して授業を受け、その日に習った内容は問題集を積極的に活用し復習するようにしましょう。
- ・課題は提出期限を守り、できるだけ自力で仕上げるようにしましょう。
- ・計算問題は必ず自力で解けるようにしましょう。
- ・授業進度によって、扱う単元に多少の変更があります。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	物理基礎	単位数	2単位
		学年等	2年生型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
使用教科書 副教材等	教科書：新編物理基礎(東京書籍) 副教材：新課程ニューアチーブ物理基礎(東京書籍)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物体の運動と様々なエネルギーから問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	300 点	300 点	300 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	物理基礎 物体の運動とエネルギー 運動の表し方 様々な力とその働き 力学的エネルギー	・定期考査等	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析
		120	120	120
2	物理基礎 様々な物理現象とエネルギーの利用 波 熱	・定期考査等	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析
		120	120	120
3	物理基礎 様々な物理現象とエネルギーの利用 電気の利用 物理学が拓く世界	・定期考査等	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析
		60	60	60

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	物理基礎 物体の運動とエネルギー 運動の表し方	14
	5	物理量の測定と扱い方 運動の表し方 直線運動の加速度	
	6	様々な力とその働き 様々な力 力のつりあい 運動の法則 物体の落下運動	7
	7	力学的エネルギー 運動エネルギーと位置エネルギー 力学的エネルギーの保存	7
2	9	物理基礎 様々な物理現象とエネルギーの利用 波	14
	10	波の性質 音と振動	
	11	熱	14
	12	熱と温度 熱の利用	
3		物理基礎 様々な物理現象とエネルギーの利用	14
	1	電気の利用	
	2	物質と電気抵抗	
	3	電気の利用 物理学が拓く世界	

5 その他

- ・定期考査・小テスト・提出物(課題・実験レポート)・授業態度等を総合的に判断して評価します。
- ・集中して授業を受け、その日に習った内容は問題集を積極的に活用し復習するようにしましょう。
- ・計算問題や課題等は必ず自力で解くようにしましょう。
- ・授業進度によって、扱う単元に多少の変更があります。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	物理基礎＋物理	単位数	3単位
		学年等	2年生理型

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	物理的な事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，物理的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
使用教科書 副教材等	教科書：高等学校 物理基礎（第一学習社） 高等学校 物理（第一学習社） 副教材：2025 課程版 セミナー物理基礎＋物理（第一学習社）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	物理学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	物理的な事物・現象から問題を見だし，見通しをもって観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，表現するなど，科学的に探究している。	物理的な事物・現象に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	物理基礎 物体の運動とエネルギー 運動の表し方 様々な力とその働き 力学的エネルギー	・定期考査等	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析
		120	120	120
2	物理基礎 様々な物理現象とエネルギーの利用 波 熱 電気の利用 物理学が拓く世界	・定期考査等	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析
		120	120	120
3	物理 波 波の伝わり方 音 光	・定期考査等	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析
		60	60	60

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1		物理基礎 物体の運動とエネルギー 運動の表し方 物理量の測定と扱い方 運動の表し方 直線運動の加速度	14
		様々な力とその働き 様々な力 力のつりあい 運動の法則 物体の落下運動	7
		力学的エネルギー 運動エネルギーと位置エネルギー 力学的エネルギーの保存	7
2		物理基礎 様々な物理現象とエネルギーの利用 波 波の性質 音と振動	14
		熱 熱と温度 熱の利用	14
		電気の利用 物質と電気抵抗 電気の利用	14
		物理学が拓く世界	
3		物理 波 波の伝わり方 波の伝わり方とその表し方 波の干渉と回折	7
		音 音の干渉と回折 音のドップラー効果	14
		光 光の回折と干渉	14

5 その他

- ・定期考査・小テスト・提出物(課題・実験レポート)・授業態度等を総合的に判断して評価します。
- ・集中して授業を受け、その日に習った内容は問題集を積極的に活用し復習するようにしましょう。
- ・計算問題や課題等は必ず自力で解くようにしましょう。
- ・授業進度によって、扱う単元に多少の変更があります。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	化学	単位数	2単位
		学年等	2年生生理型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
使用教科書 副教材等	教科書:数研出版「新編化学」 副教材:第一学習者「セミナー化学基礎+化学」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	化学的な事物・現象から問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	科学的な事物・現象に主体的にかかわり、見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようと指定る。
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	第2編 物質の変化 第2章 電池と電気分解 第1章 化学反応とエネルギー 第1編 物質の状態 第1章 固体の構造	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・提出物	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・提出物 ・課題提出 ・振り返り
		100点	100点	100点
2 学期	第2章 物質の状態変化 第3章 気体 第4章 溶液	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・提出物	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・提出物 ・振り返り
		100点	100点	100点
3 学期	第2編 物質の変化 第3章 化学反応の速さとしくみ 第4章 化学平衡	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・提出物	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・提出物 ・振り返り
		50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	第2編 物質の変化 第2章 電池と電気分解 ①電池 ②電気分解	8
	5	第1章 化学反応とエネルギー ①化学反応と熱 1学期中間考査	2
		②ヘスの法則 ③化学反応と光	4
	6	第1編 物質の状態 第1章 固体の構造	8
	7	①結晶とアモルファス ②金属結晶 ③イオン結晶 ④分子間力と分子結晶 ⑤共有結合の結晶 1学期期末考査	
2 学 期	8	第2章 物質の状態変化 ①粒子の熱運動	6
	9	②三態の変化とエネルギー ③気液平衡と蒸気圧	
		第3章 気体 ①気体の体積 ②気体の状態方程式 【実験】気体の分子量測定 2学期中間考査	10
		③混合気体の圧力 ④実在気体	8
	11	第4章 溶液 ①溶解とそのしくみ	6
	12	②溶解度 ③希薄溶液の性質 ④コロイド溶液 【実験】コロイド溶液 2学期期末考査	
3 学 期	1	第2編 物質の変化 第3章 化学反応の速さとしくみ ①化学反応の速さ	8
	2	②反応条件と反応速度 【実験】反応速度 ③化学反応のしくみ	
		第4章 化学平衡 ①可逆平衡と化学平衡	10
	3	②平衡状態の変化 ③電解質水溶液の化学平衡 学年末考査	

5 その他

- ・毎時間、必ず予習を行ってから授業に臨み、授業中もきちんとノートをとること。
- ・配られるプリント類はきちんと整理すること。
- ・計算問題・課題等は必ず自力で解くこと。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	生物基礎	単位数	2単位
		学年等	2年生理型

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	1. 生物や生物現象について, 興味や関心を高める。 2. 生物学的に探究する能力と態度を育てる。 3. 基本的な概念や原理・法則を理解させ, 科学的な自然観を育成する。 4. 自然環境を保全することの大切さを理解させる。
使用教科書 副教材等	教科書:数研出版 高等学校 生物基礎(生基/708) 副教材:数研出版 改訂版リード light ノート 生物基礎

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に着けるようにする。	生物や生物現象から問題を見いだし、見通しを持って観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	第1編 生物の特徴 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とそのはたらき	・定期考査等	・定期考査等 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート
	評価点	120	120	120
2 学期	第2編 ヒトの体内環境の維持 第3章 ヒトの体内環境の維持 第3編 生物の多様性と生態系 第4章 生物の多様性と生態系	・定期考査等	・定期考査等 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート
	評価点	120	120	120
3 学期	第3編 生物の多様性と生態系 第4章 生物の多様性と生態系	・定期考査等	・定期考査等 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート
	評価点	60	60	60

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	生物基礎を学ぶにあたって ・探求のプロセス ・予備学習	2
		第1編 生物の特徴	8
		第1章 生物の特徴	
	5	第1節 生物の多様性と共通性 第2節 エネルギーと代謝 第3節 呼吸と光合成	
	6	第2章 遺伝子とそのはたらき 第1節 遺伝情報とDNA 第2節 遺伝情報の複製と分配 第3節 遺伝情報の発現	10
	7	1学期期末考査	
2 学 期	8	第2編 ヒトの体内環境の維持	16
		第3章 ヒトの体内環境の維持	
	9	第1節 体内での遺伝情報と調節	
	10	第2節 体内環境の維持のしくみ	
		2学期中間考査	
2 学 期	11	第3節 免疫のはたらき	16
	12	第3編 生物の多様性と生態系 第4章 生物の多様性と生態系 第1節 植生と遷移	
		2学期期末考査	
3 学 期	1	第2節 植生の分布とバイオーム	18
	2	第3節 生態系と生物の多様性	
	3	第4節 生態系のバランスと保全 学年末考査	

5 その他

--

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	生物基礎+生物	単位数	3単位
		学年等	2年生理型

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	1. 生物や生物現象について, 興味や関心を高める。 2. 生物学的に探究する能力と態度を育てる。 3. 基本的な概念や原理・法則を理解させ, 科学的な自然観を育成する。 4. 自然環境を保全することの大切さを理解させる。
使用教科書 副教材等	教科書: 数研出版 高等学校 生物基礎(生基/708), 数研出版 生物(生物/704) 副教材: 数研出版 改訂版リード light ノート 生物基礎 第一学習社 新課程 二訂版 スクエア最新図説生物 neo 数研出版 改訂版リードα生物

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生物学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見だし, 見通しをもって観察, 実験などを行い, 得られた結果を分析して解釈し, 表現するなど, 科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	〔生物基礎範囲〕 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とそのはたらき 第3章 生物の体内環境	・定期考査	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート	・ファイル点検 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート ・課題プリント
	評価点	120	120	120
2 学期	第3章 生物の体内環境 第4章 植生の多様性と分布 第5章 生態系の保全	・定期考査	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート	・ファイル点検 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート ・課題プリント
	評価点	120	120	120
3 学期	〔生物範囲〕 第1編 生命現象と物質	・定期考査	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・ファイル点検 ・パフォーマンス課題
	評価点	60	60	60

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	〔生物基礎範囲〕 第0章 生物基礎を学ぶにあたって	20
	5	探究活動の進め方	
	6	第1章 生物の特徴 第1節 生物の共通性と多様性 第2節 細胞とエネルギー	
		中間考查	

	7	第2章 遺伝子とそのはたらき 第1節 遺伝情報とDNA 第2節 遺伝情報の分配 第3節 遺伝情報とタンパク質の合成 第3章 生物の体内環境 第1節 体内環境としての体液 第2節 腎臓と肝臓による調節	20
		期末考查	

		第3節 神経とホルモンによる調節 第4節 免疫	5
2 学期	8	第4章 植生の多様性と分布 第1節 植生と遷移	20
	9	第2節 気候とバイオーム	
		中間考查	
	10	-----	
	11	第5章 生態系とその保全 第1節 生態系と循環 第2節 生態系のバランスと保全	20
	12	期末考查	

		〔生物範囲〕 第1編 生物の進化 第1章 生物の進化	5
3 学期	1	第1章 生物の進化	8
	2	第2編 生命現象と物質 第2章 細胞と分子	5
	3		2
		学年末考查	

		今年度のまとめ	

5 その他

--

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	生物基礎	単位数	2単位
		学年等	2年生文型・クリエイション・体育

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	1. 生物や生物現象について, 興味や関心を高める。 2. 生物学的に探究する能力と態度を育てる。 3. 基本的な概念や原理・法則を理解させ, 科学的な自然観を育成する。 4. 自然環境を保全することの大切さを理解させる。
使用教科書 副教材等	教科書:数研出版 高等学校 生物基礎(生基/708) 副教材:数研出版 改訂版リード light ノート 生物基礎

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に着けるようにする。	生物や生物現象から問題を見いだし、見通しを持って観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	第1編 生物の特徴 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とそのはたらき	・定期考査等	・定期考査等 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート
	評価点	120	120	120
2 学期	第2編 ヒトの体内環境の維持 第3章 ヒトの体内環境の維持 第3編 生物の多様性と生態系 第4章 生物の多様性と生態系	・定期考査等	・定期考査等 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート
	評価点	120	120	120
3 学期	第3編 生物の多様性と生態系 第4章 生物の多様性と生態系	・定期考査等	・定期考査等 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート
	評価点	60	60	60

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	生物基礎を学ぶにあたって ・探求のプロセス ・予備学習	2
		第1編 生物の特徴	8
		第1章 生物の特徴	
	5	第1節 生物の多様性と共通性 第2節 エネルギーと代謝 第3節 呼吸と光合成	
	6	第2章 遺伝子とそのはたらき 第1節 遺伝情報とDNA 第2節 遺伝情報の複製と分配 第3節 遺伝情報の発現	10
	7	1学期期末考査	
2 学 期	8	第2編 ヒトの体内環境の維持	16
		第3章 ヒトの体内環境の維持	
	9	第1節 体内での遺伝情報と調節	
	10	第2節 体内環境の維持のしくみ	
		2学期中間考査	
2 学 期	11	第3節 免疫のはたらき	16
	12	第3編 生物の多様性と生態系 第4章 生物の多様性と生態系 第1節 植生と遷移	
		2学期期末考査	
3 学 期	1	第2節 植生の分布とバイオーム	18
	2	第3節 生態系と生物の多様性	
	3	第4節 生態系のバランスと保全 学年末考査	

5 その他

--

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	地学基礎	単位数	2単位
		学年等	2年生文型・クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	地球や地球を取り巻く環境に関わり, 理科の見方・考え方を働かせ, 見通しをもって観察, 実験を行うことなどを通して, 地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら, 地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察, 実験などを行い, 科学的に探究する力を養う。 (3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度と, 自然環境の保全に寄与する態度を養う。
使用教科書 副教材等	教科書:第一学習社「高等学校 地学基礎」 副教材:第一学習社「2025 新課程版セミナー地学基礎」 第一学習社「新課程二訂版スクエア最新図説地学」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら,地球や地球を取り巻く環境についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに,科学的に探究するために必要な観察,実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境から問題を見だし,見通しをもって観察,実験などを行い,得られた結果を分析して解釈し,表現するなど,科学的に探究している。	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり,見通しをもったり振り返ったりするなど,科学的に探究しようとしている。
評価点	300 点	300 点	300 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	第 6 章地球の環境 第 1 章地球のすがた 第 2 章地球の活動	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・課題提出物	・パフォーマンス課題 ・課題提出 ・振り返り
		120 点	120 点	120 点
2 学 期	第 5 章生物の変遷と地球環境 第 3 章大気と海洋	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・提出物	・パフォーマンス課題 ・課題提出 ・振り返り
		120 点	120 点	120 点
3 学 期	第 4 章宇宙と地球	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・提出物	・パフォーマンス課題 ・課題提出 ・振り返り
		60 点	60 点	60 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	第6章 地球の環境 パフォーマンス課題1 地球の環境のまとめ活動・グループ内発表 第1節 地球環境の科学 1. 気候変動 2. 地球温暖化による変化 3. オゾン層の変化	6
	5	1～3を学習し、地球と人類が現在置かれている状況を把握するとともに、地学を学ぶ意義・目的を明確にする。 第2節 日本の自然環境 1. 自然の恩恵 2. 季節の変化 3. 気象災害① 4. 気象災害② 5. 地震災害 6. 地震災害による被害の軽減 7. 火山災害と防災 1～7を学習し、これから日本で安全・安心に生きていくための知恵を身につける。 パフォーマンス課題2 1学期中間レポート 1学期中間考査	
	6	第1章 地球のすがた パフォーマンス課題3 地球のすがたのまとめ活動・グループ内発表 第1節 地球の概観 1. 地球の形と大きさ 2. 地球の形の特徴と大きさ 3. 地球の内部構造 4. 地球内部の動き	12
	7	1～4を学習し、私たちの住処である地球がどのようなものなのかを理解する。 第2節 プレートの運動 1. プレートの分布と運動 2. プレートの境界 3. 地殻の変動と地質構造 4. 変成作用 5. 大地形の形成 パフォーマンス課題4 地球のすがたの実験①・グループ内共有 1～5について学習し、地球のこれまでとこれからの動き方を理解する。	
		第2章 地球の活動 第1節 地震 1. 地震の発生と分布 2. 地震波の伝わり方 3. 日本付近で発生する地震① 4. 日本付近で発生する地震② 1～4について学習し、これから日本や世界で起こる地震に備えるための知恵を身につける。 第2節 火山活 1. 火山の分布 2. 火山の形成とマグマ 3. 火山の噴火 4. 火山の地形 5. 火成岩の形成 6. 火成岩の種類 パフォーマンス課題5 地球のすがたの実験②・グループ内共有 1～6について学習し、これから日本や世界で起こる火山噴火に備えるための知恵を身につける。	
		パフォーマンス課題6 1学期期末レポート 1学期期末考査	

2 学 期	8	第5章 生物の変遷と地球環境 第1節 地層と化石 1. 地層の形成 2. 地層の重なりと広がり 3. 堆積岩 4. 化石と地質時代① 5. 化石と地質時代② 1～5について学習し、地球の歴史の組み立て方を理解するとともに、地球史を探究する上では地層はごちそうであることを実感する。	10
	9	第2節 地球と生物の変遷 <u>パフォーマンス課題 7 地球史まとめ活動・グループ内発表</u> 1. 先カンブリア時代① 2. 先カンブリア時代② 3. 古生代① 4. 古生代② 5. 中生代 6. 新生代① 7. 新生代② 1～7について学習し、地球の壮大な歴史と生命の奇跡的な進化を理解し、自分や他者の命の尊さや生物多様性の保全の大切さについて考察する。 <u>パフォーマンス課題 8 2 学期中間レポート</u> 2 学期中間考查	10
	10	第3章 大気と海洋 第1節 地球のエネルギー収支 <u>パフォーマンス課題 9 大気と海洋の実験①・グループ内共有</u> 1. 大気の種類と特徴① 2. 大気の種類と特徴② 3. 対流圏における水の変化 4. 太陽放射と地球放射 5. 地球を出入りするエネルギー 1～5について学習し、私たちの日常生活への影響を理解するとともに、より安全・安心・快適な生活を送るための方法を考察する。	12
	11	第2節 大気と海水の運動 <u>パフォーマンス課題 10 大気と海洋の実験②・グループ内共有</u> 1. エネルギー収支の緯度分布 2. 風 3. 大気の大循環① 4. 大気の大循環② 5. 海洋の構造 6. 海洋の大循環 7. エルニーニョ現象とラニーニャ現象 1～7について学習し、私たちの日常生活への影響を理解するとともに、より安全・安心・快適な生活を送るための方法を考察する。 <u>パフォーマンス課題 11 2 学期期末レポート</u> 2 学期期末考查	
3 学 期	12	第4章 宇宙と地球 第2節 太陽系と地球の誕生 1. 太陽系の構造 2. 太陽系の誕生① 3. 太陽系の誕生② 4. 太陽系惑星 5. 生命の惑星・地球 1～5について学習し、太陽系の中の地球やそこで暮らす生物という存在が極めて稀有なものであることを理解し、自分や他者の命の尊さや生物多様性の保全の大切さについて考察する。	10
	1		10
	2	第4章 宇宙と地球 第1節 宇宙と太陽の誕生 <u>パフォーマンス課題 12 宇宙史まとめ活動・グループ内発表</u> 1. 宇宙の探究 2. 宇宙の始まり① 3. 宇宙の始まり② 4. 太陽の誕生 5. 太陽の活動 1～5について学習し、宇宙の壮大な時間・空間・歴史について理解し、これまで1年間に学習した内容との一貫した連続性について考察し、地球規模で考えて行動することについて考察する。 <u>パフォーマンス課題 13 学年末レポート</u> 学年末考查	

5 その他

現象や物体を観察し、考えることで、疑問を感じ、自ら問いを立てることができます。自分の疑問を出発点とした主体的な学習を心がけましょう。また、単元によっては、予習・授業・復習を反転授業の形式で行う予定です。予習として、自分で授業解説動画を視聴する習慣をつけていきましょう。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	地学基礎	単位数	2単位
		学年等	2年生体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	地球や地球を取り巻く環境に関わり, 理科の見方・考え方を働かせ, 見通しをもって観察, 実験を行うことなどを通して, 地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら, 地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察, 実験などを行い, 科学的に探究する力を養う。 (3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度と, 自然環境の保全に寄与する態度を養う。
使用教科書 副教材等	教科書: 第一学習社「高等学校 地学基礎」 副教材: 第一学習社「2025 新課程版セミナー地学基礎」 第一学習社「新課程二訂版スクエア最新図説地学」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら, 地球や地球を取り巻く環境についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境から問題を見だし, 見通しをもって観察, 実験などを行い, 得られた結果を分析して解釈し, 表現するなど, 科学的に探究している。	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。
評価点	300 点	300 点	300 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	第 6 章地球の環境 第 1 章地球のすがた 第 2 章地球の活動	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・課題提出物	・パフォーマンス課題 ・課題提出 ・振り返り
		120 点	120 点	120 点
2 学期	第 5 章生物の変遷と地球環境 第 3 章大気と海洋	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・提出物	・パフォーマンス課題 ・課題提出 ・振り返り
		120 点	120 点	120 点
3 学期	第 4 章宇宙と地球	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・提出物	・パフォーマンス課題 ・課題提出 ・振り返り
		60 点	60 点	60 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	第6章 地球の環境 パフォーマンス課題1 地球の環境のまとめ活動・グループ内発表 第1節 地球環境の科学 1. 気候変動 2. 地球温暖化による変化 3. オゾン層の変化	6
	5	1～3を学習し、地球と人類が現在置かれている状況を把握するとともに、地学を学ぶ意義・目的を明確にする。 第2節 日本の自然環境 1. 自然の恩恵 2. 季節の変化 3. 気象災害① 4. 気象災害② 5. 地震災害 6. 地震災害による被害の軽減 7. 火山災害と防災 1～7を学習し、これから日本で安全・安心に生きていくための知恵を身につける。 パフォーマンス課題2 1学期中間レポート 1学期中間考查	
	6	第1章 地球のすがた パフォーマンス課題3 地球のすがたのまとめ活動・グループ内発表 第1節 地球の概観 1. 地球の形と大きさ 2. 地球の形の特徴と大きさ 3. 地球の内部構造 4. 地球内部の動き	12
	7	1～4を学習し、私たちの住処である地球がどのようなものなのかを理解する。 第2節 プレートの運動 1. プレートの分布と運動 2. プレートの境界 3. 地殻の変動と地質構造 4. 変成作用 5. 大地形の形成 パフォーマンス課題4 地球のすがたの実験①・グループ内共有 1～5について学習し、地球のこれまでとこれからの動き方を理解する。 第2章 地球の活動 第1節 地震 1. 地震の発生と分布 2. 地震波の伝わり方 3. 日本付近で発生する地震① 4. 日本付近で発生する地震② 1～4について学習し、これから日本や世界で起こる地震に備えるための知恵を身につける。 第2節 火山活 1. 火山の分布 2. 火山の形成とマグマ 3. 火山の噴火 4. 火山の地形 5. 火成岩の形成 6. 火成岩の種類 パフォーマンス課題5 地球のすがたの実験②・グループ内共有 1～6について学習し、これから日本や世界で起こる火山噴火に備えるための知恵を身につける。 パフォーマンス課題6 1学期期末レポート 1学期期末考查	

2 学 期	8	第5章 生物の変遷と地球環境 第1節 地層と化石 1. 地層の形成 2. 地層の重なりと広がり 3. 堆積岩 4. 化石と地質時代① 5. 化石と地質時代② 1～5について学習し、地球の歴史の組み立て方を理解するとともに、地球史を探究する上では地層はごちそうであることを実感する。	10
	9	第2節 地球と生物の変遷 パフォーマンス課題 7 地球史まとめ活動・グループ内発表 1. 先カンブリア時代① 2. 先カンブリア時代② 3. 古生代① 4. 古生代② 5. 中生代 6. 新生代① 7. 新生代② 1～7について学習し、地球の壮大な歴史と生命の奇跡的な進化を理解し、自分や他者の命の尊さや生物多様性の保全の大切さについて考察する。 パフォーマンス課題 8 2 学期中間レポート 2 学期中間考查	10
	10	第3章 大気と海洋 第1節 地球のエネルギー収支 パフォーマンス課題 9 大気と海洋の実験①・グループ内共有 1. 大気構成と特徴① 2. 大気構成と特徴② 3. 対流圏における水の変化 4. 太陽放射と地球放射 5. 地球を出入りするエネルギー 1～5について学習し、私たちの日常生活への影響を理解するとともに、より安全・安心・快適な生活を送るための方法を考察する。	12
	11	第2節 大気と海水の運動 パフォーマンス課題 10 大気と海洋の実験②・グループ内共有 1. エネルギー収支の緯度分布 2. 風 3. 大気の大循環① 4. 大気の大循環② 5. 海洋の構造 6. 海洋の大循環 7. エルニーニョ現象とラニーニャ現象 1～7について学習し、私たちの日常生活への影響を理解するとともに、より安全・安心・快適な生活を送るための方法を考察する。 パフォーマンス課題 11 2 学期期末レポート 2 学期期末考查	
	12	第4章 宇宙と地球 第2節 太陽系と地球の誕生 1. 太陽系の構造 2. 太陽系の誕生① 3. 太陽系の誕生② 4. 太陽系惑星 5. 生命の惑星・地球 1～5について学習し、太陽系の中の地球やそこで暮らす生物という存在が極めて稀有なものであることを理解し、自分や他者の命の尊さや生物多様性の保全の大切さについて考察する。	10
3 学 期	1		10
	2	第4章 宇宙と地球 第1節 宇宙と太陽の誕生 パフォーマンス課題 12 宇宙史まとめ活動・グループ内発表 1. 宇宙の探究 2. 宇宙の始まり① 3. 宇宙の始まり② 4. 太陽の誕生 5. 太陽の活動 1～5について学習し、宇宙の壮大な時間・空間・歴史について理解し、これまで1年間に学習した内容との一貫した連続性について考察し、地球規模で考えて行動することについて考察する。 パフォーマンス課題 13 学年末レポート 学年末考查	
	3		

5 その他

現象や物体を観察し、考えることで、疑問を感じ、自ら問いを立てることができます。自分の疑問を出発点とした主体的な学習を心がけましょう。また、単元によっては、予習・授業・復習を反転授業の形式で行う予定です。予習として、自分で授業解説動画を視聴する習慣をつけていきましょう。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	物理	単位数	5単位
		学年等	3年生型
学習の到達目標	物理的な事物・現象に関わり, 理科の見方・考え方を働かせ, 見通しをもって観察, 実験を行うことなどを通して, 物理的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
使用教科書 副教材等	教科書: 高等学校 物理(第一学習社) 副教材: 2024 新課程版 セミナー物理基礎+物理(第一学習社)		

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	物理学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	物理的な事物・現象から問題を見だし, 見通しをもって観察, 実験などを行い, 得られた結果を分析して解釈し, 表現するなど, 科学的に探究している。	物理的な事物・現象に主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	物理 様々な運動 平面内の運動と剛体のつり合い 運動量 円運動と単振動 万有引力 気体の分子の運動	・定期考査等	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析
		120	120	120
2	物理 電気と磁気 電気と電流 電流と磁界	・定期考査等	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析
		120	120	120
3	物理 原子 電子と光 原子と原子核 物理が築く未来	・定期考査等	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析	・課題提出 ・パフォーマンス課題 ・実験ワークシートの記述分析
		60	60	60

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	物理 様々な運動 平面内の運動と剛体のつり合い 曲線運動の速度と加速度 放物運動 剛体のつり合い	14
	5	運動量 運動量と力積 運動量の保存 衝突と力学的エネルギー	14
	6	円運動と単振動 円運動 単振動 万有引力 惑星の運動 万有引力	14
	7	気体の分子の運動 気体分子の運動と圧力 気体の内部エネルギー 気体の状態変化	14
2 学 期	8	物理 電気と磁気 電気と電流	35
	9	電荷と電界 電界と電位 電気容量 電気回路	
	10	電流と磁界 電流による磁界 電流が磁界から受ける力	35
	11	電磁誘導	
	12	電磁波	

3 学 期	1	物理 原子 電子と光 電子 粒子性と波動性	15
	2	原子と原子核 原子とスペクトル 原子核 素粒子	15
		物理学が築く未来 物理学が築く未来	5

5 その他

- ・定期考査・小テスト・提出物(課題・実験レポート)・授業態度等を総合的に判断して評価します。
- ・集中して授業を受け、その日に習った内容は問題集を積極的に活用し復習するようにしましょう。
- ・計算問題や課題等は必ず自力で解くようにしましょう。
- ・授業進度によって、扱う単元に多少の変更があります。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	化学基礎	単位数	3単位
		学年等	3年生体育

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。 (1)原子の構造及び電子配置と周期律との関係性を理解させる。また、物質の性質について観察、実験などを通して探究し、化学結合と物質の性質との関係を理解させ、物質について微視的な見方ができるようにする。 (2)化学反応の量的関係、酸と塩基の反応及び酸化還元反応について観察、実験などを通して探究し、化学反応に関する概念や法則を理解させるとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。
使用教科書 副教材等	教科書:数研出版 新編 化学基礎 副教材:浜島書店 新ステップノート 化学基礎

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、物質の構成と化学結合、物質の変化について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために観察、実験などに関する基本的操作や記録などの基本的技能を身につけている。	物質の構成と化学結合、物質の変化について問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物質の構成と化学結合、物質の変化について主体的に関わり、見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	250 点	250 点	250 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	1編 物質の構成と化学結合 1章 物質の構成 2章 物質の構成粒子 3章 粒子の結合	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・提出物	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・提出物、授業態度等
		100 点	100 点	100 点
2 学 期	3章 粒子の結合 2編 物質の変化 1章 物質と化学変化 2章 酸と塩基の反応 3章 酸化還元反応	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・提出物	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・提出物、授業態度等
		100 点	100 点	100 点
3 学 期	化学基礎の総復習 総合演習	・小テスト ・提出物	・課題提出 ・授業観察	・課題提出 ・授業観察

		・授業観察		
		10 点	10 点	10 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	1編 物質の構成と化学結合	10
		1章 物質の構成	
		①純物質と混合物	3
	5	②物質とその成分	
		2章 物質の構成粒子	
		①原子とその構造	4
		1学期中間考査	
	6	②イオン	16
		③元素の周期表	
	7	3章 粒子の結合	
		①イオン結合とイオンからなる物質 ②分子と共有結合	16
		③共有結合結晶 ④金属結合と金属	
		1学期期末考査	
2 学 期	8	2編 物質の変化	14
	9	1章 物質と化学変化	
		①原子量・分子量・式量	
		②物質質量	
		③溶液の濃度	19
	10	④化学反応式と物質質量 【実験】化学反応の量的関係を調べる	
		2学期中間考査	
		2章 酸と塩基の反応	16
		①酸と塩基	
	11	②水の電離と水溶液の pH	
		③中和反応 【実験】中和滴定	
	12	④塩	16
		3章 酸化還元反応	
		①酸化と還元	
		②酸化剤と還元剤 【実験】酸化剤と還元剤の反応を観察する	
		③金属の酸化還元反応 【実験】金属のイオン化傾向	16
		④酸化還元反応の利用	
		2学期期末考査	
3 学 期	1	化学基礎の総復習	23
	2		
	3	総合演習	

5 その他

・毎時間、必ず予習を行ってから授業に臨み、授業中もきちんとノートをとること。 ・配られるプリント類はきちんと整理すること。 ・計算問題・課題等は必ず自力で解くこと。
--

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	化学	単位数	4単位
		学年等	3年生型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
使用教科書 副教材等	教科書:数研出版「新編化学」 副教材:第一学習社 セミナー化学基礎+化学

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	化学的な事物・現象から問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	第3編 無機化学 第1章 非金属元素 第2章 典型金属元素 第3章 遷移元素 第4編 有機化合物 有機化合物の分類と分析	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・提出物	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・提出物
		100点	100点	100点
2 学期	第1章 脂肪族炭化水素 第2章 アルコールと関連化合物 第3章 芳香族化合物 第5編 高分子化合物 第1章 高分子化合物の種類 第2章 天然高分子化合物 合成高分子化合物	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・提出物	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・提出物
		100点	100点	100点
3 学期	化学基礎・化学の総復習 総合演習	・小テスト ・提出物 ・授業観察	・提出物 ・授業観察	・提出物 ・授業観察
		10点	10点	10点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
----	---	----------	----

1 学 期	4	第3編 無機化学 第1章 非金属元素 ① 元素の分類と周期表 ② 水素・希ガス元素 ③ ハロゲン元素 ④ 酸素・硫黄 ⑤ 窒素・リン ⑥ 炭素・ケイ素	10
	5	第2章 典型金属元素 ① アルカリ金属元素 ② 2族元素 ③ アルミニウム・亜鉛 ④ スズ・鉛 1学期中間考査	10
	6	第3章 遷移元素 ① 遷移元素の特徴, ② 鉄, ③ 銅, ④ 銀, ⑤ 金, ⑥ クロム, ⑦ マンガン ⑧ 金属イオンの分離・確認	16
	7	第4編 有機化合物 第1章 有機化合物の分類と分析 ① 有機化合物の特徴と分類 ② 有機化合物の分析 1学期期末考査	8
2 学 期	8	第2章 脂肪族炭化水素 ① 飽和炭化水素	16
	9	② 不飽和炭化水素	
	10	第3章 アルコールと関連化合物 ① アルコールとエーテル ② アルデヒドとケトン	16
	11	③ 脂肪族カルボン酸と酸無水物 2学期中間考査	

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	化学基礎演習	単位数	2単位
		学年等	3年生文型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を次のとおり育成することを目指す。 (1)日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの基礎的な技能を身に付ける。 (2)物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究する。 (3)物質とその変化に主体的関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。
使用教科書 副教材等	教科書:数研出版 新編 化学基礎 副教材:第一学習社 標準セミナー 化学基礎

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、物質の構成と化学結合、物質の変化について基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために観察、実験などに関する基本的操作や記録などの基本的技能を身につけている。	物質の構成と化学結合、物質の変化について問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物質の構成と化学結合、物質の変化について主体的に関わり、見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	210点	210点	210点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	1編 物質の構成と化学結合 1章 物質の構成 2章 物質の構成粒子 3章 粒子の結合 2編 物質の変化 1章 物質と化学変化	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・提出物	・小テスト ・提出物、授業態度等
		100点	100点	100点
2学期	1章 物質と化学変化 2章 酸と塩基の反応 3章 酸化還元反応	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・提出物	・小テスト ・提出物、授業態度等
		100点	100点	100点

3 学期	化学基礎の総復習 総合演習	・小テスト	・提出物	・小テスト ・提出物、授業態度等
		10 点	10 点	10 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	1編 物質の構成と化学結合 1章 物質の構成 ①純物質と混合物 ②物質とその成分	10
	5	2章 物質の構成粒子 ①原子とその構造 ②イオン ③元素の周期表 1学期中間考査	
	6	3章 粒子の結合 ①イオン結合とイオンからなる物質 ②分子と共有結合 ③共有結合結晶 ④金属結合と金属	14
	7	2編 物質の変化 1章 物質と化学変化 ①原子量・分子量・式量 ②物質質量 1学期期末考査	
2 学期	8	③溶液の濃度 ④化学反応式と物質質量 【実験】 化学反応の量的関係を調べる	14
	9	2章 酸と塩基の反応 ①酸と塩基 ②水の電離と水溶液の pH ③中和反応 【実験】 中和滴定 ④塩	
		3章 酸化還元反応 ①酸化と還元 2学期中間考査	
	10	②酸化剤と還元剤 【実験】 酸化剤と還元剤の反応を観察する ③金属の酸化還元反応	14
	11 12	④酸化還元反応の利用 2学期期末考査	
3 学期	1 2 3	化学基礎の総復習 総合演習	18

5 その他

- ・毎時間、必ず予習を行ってから授業に臨み、授業中もきちんとノートをとること。
- ・配られるプリント類はきちんと整理すること。
- ・計算問題・課題等は必ず自力で解くこと。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	生物	単位数	5単位
		学年等	3年生生理型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1. 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 2. 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 3. 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。
使用教科書 副教材等	教科書:数研出版 生物(生物/704) 副教材:数研出版 新課程 リードα生物 第一学習社 新課程 二訂版 スクエア最新図説生物 数研出版 新課程 大学入学共通テスト対策 チェック&演習 生物

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生物や生物現象についての観察、実験などを行うことを通して、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験、調査等に関する基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見出すための観察、情報収集、仮設の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論など科学的に探究する力を身に付けている。また、探究した内容を基に報告書を作成し、発表する等、表現力を身に付けている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気づきから課題を設定し解決しようとしている。また、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を示し、自然の事物・現象を総合的に考察しようとしている。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	第3章「代謝」 第4章「遺伝情報の発現と発生」 第5章「動物の反応と行動」	定期考査	定期考査 実験レポート パフォーマンス課題	実験レポート パフォーマンス課題 ファイル点検
		120	120	120
2 学期	第6章「植物の環境応答」 第7章「生物群集と生態系」	定期考査	定期考査 実験レポート パフォーマンス課題	実験レポート パフォーマンス課題 ファイル点検
		120	120	120
3 学期	教科書内容の総復習	小テスト	実験レポート	実験レポート パフォーマンス課題
		60	60	60

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	第3章 代謝 第1節 代謝とエネルギー	25
	5	第2節 呼吸と発酵 中間考查	

		第3節 光合成	15
	6	第4章 遺伝情報の発現と発生 第1節 DNA の構造と複製 第2節 遺伝情報の発現 期末考查	20
2 学 期	7	第3節 遺伝子の発現調節	15
	8	第4節 発生と遺伝子発現 第5節 遺伝子を扱う技術	
		第5章 動物の反応と行動	
	9	第1節 刺激の受容 第2節 ニューロンとその興奮	15
		第3節 情報の統合	15
		第4節 刺激への反応	
	10	第5節 動物の行動 中間考查	

		第6章 植物の環境応答	30
	11	第1節 植物の生活と植物ホルモン 第2節 発芽の調節 第3節 成長の調節	
		第4節 器官の分化と花芽形成の調節	
		第5節 環境の変化に対する応答	
	12	第6節 配偶子形成と受精	
		第7章 生物群集と生態系	
3 学 期	12	第1節 個体群の構造と性質	15
	1	第2節 個体群内の個体間の関係	
		第3節 異なる種の個体群間の関係	
	2	第4節 生態系の物質生産と物質循環 第5節 生態系の人間生活 期末考查	
	12	今年度のまとめ・総復習	25
	1		
	2		

5 その他

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	生物基礎演習	単位数	2単位
		学年等	3年生文型・クリエイション・体育

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	(1)日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生命現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基礎的な技能を身に付けるようにする。 (2)観察、実験などを行い科学的に探究する基礎力を養う。 (3)生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。
使用教科書 副教材等	教科書:数研出版 高等学校 生物基礎(生基/708) 副教材:数研出版 新課程リード light ノート 生物基礎 浜島書店 つかむ生物基礎

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	生物や生物現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。
評価点	260	260	260

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とそのはたらき	・定期考査	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート	・提出物 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート
	評価点	120	120	120
2 学期	第3章 ヒトの体内環境の維持 第4章 生物の多様性と生態系	・定期考査	・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート	・提出物 ・パフォーマンス課題 ・実験レポート
	評価点	120	120	120
3 学期	第1章～第4章(総復習)	・小テスト	・小テスト	・提出物 ・授業態度
	評価点	20	20	20

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	第1編 生物の特徴	10
		第1章 生物の特徴	
	5	第1節 生物の多様性と共通性 第2節 エネルギーと代謝 第3節 呼吸と光合成	10
	6	第2章 遺伝子とそのはたらき	
	7	第1節 遺伝情報とDNA 第2節 遺伝情報の複製と分配 第3節 遺伝情報の発現	
		1学期期末考査	
2 学 期	8	第2編 ヒトの体内環境の維持	16
	9	第3章 ヒトの体内環境の維持	
	10	第1節 体内での遺伝情報と調節 第2節 体内環境の維持のしくみ 第3節 免疫のはたらき	16
	11	第4章 生物の多様性と生態系	
	12	第1節 植生と遷移 第2節 植生の分布とバイオーム 第3節 生態系と生物の多様性 第4節 生態系のバランスと保全	
		2学期中間試験	
		2学期期末試験	
3 学 期	1 2 3	第1章～第4章(総復習)	18

5 その他

--

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	地学基礎演習	単位数	2単位
		学年等	3年生文型

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験、実習等、様々な場面で主体的・対話的で深い学びを行うことで、より良く生きる力や、探究する能力・姿勢を育み、持続可能な社会の担い手を育成する。 (3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。
使用教科書 副教材等	教科書：第一学習社「高等学校 地学基礎」 副教材：第一学習社「新課程版セミナー地学基礎」 第一学習社「新課程二訂版スクエア最新図説地学」 ベネッセ「進研 WINSTEP 地学基礎〔新課程版〕」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	220 点	220 点	220 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	第 6 章地球の環境 第 1 章地球のすがた 第 2 章地球の活動 第 5 章生物の変遷と地球環境	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・課題提出物 ・探究課題	・授業振り返りシート ・課題提出 ・探究課題
		100 点	100 点	100 点
2	第 3 章大気と海洋 第 4 章宇宙と地球	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・提出物 ・探究課題	・授業振り返りシート ・課題提出 ・探究課題
		100 点	100 点	100 点
3		・小テスト	・提出物	・授業振り返りシート ・課題提出
		20 点	20 点	20 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	第6章 地球の環境 探究課題1 地球の環境の協働学習活動	6
	5	第1節 地球環境の科学	
	6	第2節 日本の自然環境	
		第1章地球のすがた 探究課題2 地球のすがたの協働学習活動	
		第1節 地球の概観	
		第2節 プレーートの運動	12
		探究課題3 1学期中間レポート	
		1学期中間考査	

		第2章 地球の活動 探究課題4 地球の活動の協働学習活動	
2		第1節 地震	10
	7	第2節 火山活動	
		第5章 生物の変遷と地球環境 探究課題5 地球史の協働学習活動	
		第1節 地層と化石	
		第2節 地球と生物の変遷 探究課題6 1学期期末レポート	
		1学期期末考査	10
	8	第3章 大気と海洋	
		第1節 地球のエネルギー収支 探究課題7 大気と海洋の協働学習活動	
		第2節 大気と海水の運動	
	9	第4章 宇宙と地球	
3		第2節 太陽系と地球の誕生	12
		第4章 宇宙と地球	
		第1節 宇宙と太陽の誕生 探究課題8 宇宙史の協働学習活動	
		2学期中間考査	

	10	総復習(既習事項の演習)	10
		入試等の試験に向けての実力を養成する。	
3	11	2学期期末考査	10
	12	総復習(既習事項の演習)	
	1	入試等の試験に向けての実力を養成する。	
	2		10

5 その他

現象や物体を観察し、考えることで、疑問を感じ、自ら問いを立てることができます。自分の疑問を出発点とした主体的な学習を心がけましょう。また、単元によっては、予習・授業・復習を反転授業の形式で行う予定です。予習として、自分で授業解説動画を視聴する習慣をつけていきましょう。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	地学基礎演習	単位数	2単位
		学年等	3年生体育コース

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験、実習等、様々な場面で主体的・対話的で深い学びを行うことで、より良く生きる力や、探究する能力・姿勢を育み、持続可能な社会の担い手を育成する。 (3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。
使用教科書 副教材等	教科書：第一学習社「高等学校 地学基礎」 副教材：第一学習社「新課程版セミナー地学基礎」 第一学習社「新課程二訂版スクエア最新図説地学」 ベネッセ「進研 WINSTEP 地学基礎〔新課程版〕」

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	220 点	220 点	220 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	第 6 章地球の環境 第 1 章地球のすがた 第 2 章地球の活動 第 5 章生物の変遷と地球環境	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・課題提出物 ・探究課題	・授業振り返りシート ・課題提出 ・探究課題
		100 点	100 点	100 点
2	第 3 章大気と海洋 第 4 章宇宙と地球	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・提出物 ・探究課題	・授業振り返りシート ・課題提出 ・探究課題
		100 点	100 点	100 点
3		・小テスト	・提出物	・授業振り返りシート ・課題提出
		20 点	20 点	20 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	第6章 地球の環境 探究課題1 地球の環境の協働学習活動	6
	5	第1節 地球環境の科学	
	6	第2節 日本の自然環境	
		第1章地球のすがた 探究課題2 地球のすがたの協働学習活動	
		第1節 地球の概観	
		第2節 プレーートの運動	12
		探究課題3 1学期中間レポート	
		1学期中間考査	

		第2章 地球の活動 探究課題4 地球の活動の協働学習活動	
2		第1節 地震	10
	7	第2節 火山活動	
		第5章 生物の変遷と地球環境 探究課題5 地球史の協働学習活動	
		第1節 地層と化石	
		第2節 地球と生物の変遷 探究課題6 1学期期末レポート	
		1学期期末考査	10
	8	第3章 大気と海洋	
		第1節 地球のエネルギー収支 探究課題7 大気と海洋の協働学習活動	
		第2節 大気と海水の運動	
	9	第4章 宇宙と地球	
3		第2節 太陽系と地球の誕生	12
		第4章 宇宙と地球	
		第1節 宇宙と太陽の誕生 探究課題8 宇宙史の協働学習活動	
		2学期中間考査	

	10	総復習(既習事項の演習)	10
		入試等の試験に向けての実力を養成する。	
3	11	2学期期末考査	10
	12	総復習(既習事項の演習)	
	1	入試等の試験に向けての実力を養成する。	
	2		10

5 その他

現象や物体を観察し、考えることで、疑問を感じ、自ら問いを立てることができます。自分の疑問を出発点とした主体的な学習を心がけましょう。また、単元によっては、予習・授業・復習を反転授業の形式で行う予定です。予習として、自分で授業解説動画を視聴する習慣をつけていきましょう。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	体育	単位数	3単位
		学年等	1年生普通

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	運動の合理的, 計画的な実践を通して, 知識を深めるとともに技能を高め, 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし, 自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て, 公正, 協力, 責任, 参画などに対する意欲を高め, 健康・安全を確保して, 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
使用教科書 副教材等	授業用個人シート 教科書;現代高等保健体育(大修館書店)…体育理論で使用授業用個人シート 副教材;ステップアップ高校スポーツ 2023(大修館書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的, 計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに, 目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し, 合理的, 計画的な解決に向けて, 課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに, それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう, 運動の合理的, 計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。
評価点	300 点	300 点	300 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	A 種目…器械・陸上・ダンス 体育理論…単元1「スポーツの発祥と発展」 第1・2・3	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト 授業態度
	評価点	100	100	100
2 学 期	B 種目…ゴール型(バスケットボール・ハンドボール・サッカー・アルティメット) 武道(柔道・剣道) 体育理論…単元1「スポーツの発祥と発展」 第4・5・6	実技テスト 小テスト	実技テスト 小テスト	課題提出 パフォーマンステスト 授業態度
	評価点	100	100	100
3 学 期	C 種目…ネット型(卓球・バドミントン・バレーボール) ベースボール型(ソフトボール) A・B・C 種目確認テスト	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト 授業態度
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	「体づくり」 14 時間	36
	5		
	6	A 種目選択制授業・・・器械・陸上・ダンス	
	7	「体育理論」 6 月下旬から 7 月上旬で3時間で実施 1. スポーツの始まりと変遷 2. 文化としてのスポーツ 3. オリンピックとパラリンピックの意義	
		パフォーマンステスト:自主挑戦課題	
2 学 期	8	「体づくり」7 時間	42
	9	「体育理論」 体育祭後3時間で実施 4. オリンピックと国際理解 5.スポーツと経済 6.ドーピングとスポーツ	
	10		
	11	B 種目選択授業・・・バスケットボール・ハンドボール・サッカー・アルティメット・柔道・剣道	
	12	パフォーマンステスト:自主挑戦課題	
3 学 期	1	C 種目選択制授業・・・卓球・バドミントン・バレーボール・ソフトボール	27
	2	種目(ABC)確認テスト パフォーマンステスト:自主挑戦課題	
	3		

5 その他

1 年次においては、体力を高めることに関心を持ち、各種目の特性や技の名称、課題解決の方法、ルール、試合の仕方などを理解する。また、自己や仲間と協力し、課題に応じた運動を継続するための取り組み方法を学びスキル向上を目指してもらいたい。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	体育	単位数	2単位
		学年等	1年生体育

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	運動の合理的, 計画的な実践を通して, 知識を深めるとともに技能を高め, 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし, 自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て, 公正, 協力, 責任, 参画などに対する意欲を高め, 健康・安全を確保して, 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
使用教科書 副教材等	授業用個人シート 教科書;現代高等保健体育(大修館書店)…体育理論で使用授業用個人シート 副教材;ステップアップ高校スポーツ 2023(大修館書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的, 計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに, 目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し, 合理的, 計画的な解決に向けて, 課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに, それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう, 運動の合理的, 計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。
評価点	300 点	300 点	300 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	A 種目…器械・陸上・ダンス 体育理論…単元1「スポーツの発祥と発展」 第1・2・3	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト 授業態度
	評価点	100	100	100
2 学 期	B 種目…ゴール型(バスケットボール・ハンドボール・サッカー・アルティメット) 武道(柔道・剣道) 体育理論…単元1「スポーツの発祥と発展」 第4・5・6	実技テスト 小テスト	実技テスト 小テスト	課題提出 パフォーマンステスト 授業態度
	評価点	100	100	100
3 学 期	C 種目…ネット型(卓球・バドミントン・バレーボール) ベースボール型(ソフトボール) A・B・C 種目確認テスト	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト 授業態度
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	「体づくり」 14 時間	25
	5		
	6	A 種目選択制授業・・・器械・陸上・ダンス	
	7	「体育理論」 6 月下旬から 7 月上旬で3時間で実施 1. スポーツの始まりと変遷 2. 文化としてのスポーツ 3. オリンピックとパラリンピックの意義	
		パフォーマンステスト:自主挑戦課題	
2 学 期	8	「体づくり」7 時間	25
	9	「体育理論」 体育祭後3時間で実施 4. オリンピックと国際理解 5.スポーツと経済 6.ドーピングとスポーツ	
	10		
	11	B 種目選択授業・・・バスケットボール・ハンドボール・サッカー・アルティメット・柔道・剣道	
	12	パフォーマンステスト:自主挑戦課題	
3 学 期	1	C 種目選択制授業・・・卓球・バドミントン・バレーボール・ソフトボール	20
	2	種目(ABC)確認テスト パフォーマンステスト:自主挑戦課題	
	3		

5 その他

1 年次においては、体力を高めることに関心を持ち、各種目の特性や技の名称、課題解決の方法、ルール、試合の仕方などを理解する。また、自己や仲間と協力し、課題に応じた運動を継続するための取り組み方法を学びスキル向上を目指してもらいたい。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	保健	単位数	1単位
		学年等	1年生全

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。
使用教科書 副教材等	教科書;現代高等保健体育(大修館書店) 副教材;現代高等保健体育ノート(大修館書店), 授業用プリント

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること等を理解している。 ・安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。交通事故防止には、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること等を理解している。	・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 ・安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。	・現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。 ・安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	1 単元『現代社会と健康』 第1・2・3・4・5章 2 単元『安全な社会生活』 第4・5・6章	期末考査	期末考査 パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
2 学 期	1 単元『現代社会と健康』 第6・7・8・9・10・11章 2 単元『安全な社会生活』 第1・2・3章	期末考査	期末考査 パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
3 学 期	1 単元『現代社会と健康』 第 12・13・14・15・16・17・18・19章	期末考査	期末考査 パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	1 単元 『現代社会と健康』 第1章 健康の考え方と成り立ち	10
	5	第2章 私たちの健康のすがた 第3章 生活習慣病の予防と回復 第4章 がんの原因と予防 第5章 がんの治療と回復	
	6	2単元 『安全な社会生活』 第4章 応急手当の意義とその基本	
	7	第5章 日常的な応急手当 第6章 心肺蘇生法	
		パフォーマンステスト1:自主挑戦課題	
		----- 1学期期末考查	
2 学 期	8	1 単元 『現代社会と健康』 第6章 運動と健康	13
	9	第7章 食事と健康 第8章 休養・睡眠と健康 第9章 喫煙と健康	
	10	第10章 飲酒と健康 第11章 薬物乱用と健康	
	11	2単元 『安全な社会生活』 第1章 事故の現状と発生要因 第2章 安全な社会の形成	
	12	第3章 交通における安全	
		パフォーマンステスト2:自主挑戦課題	
		----- 2学期期末考查	
3 学 期	1	1 単元 『現代社会と健康』 第12章 精神疾患の特徴	12
	2	第13章 精神疾患の予防 第14章 精神疾患からの回復 第15章 現代の感染症	
	3	第16章 感染症の予防 第17章 性感染症・エイズとその予防 第18章 健康に関する意思決定・行動選択 第19章 健康に関する環境づくり	
		パフォーマンステスト3:自主挑戦課題	
		----- 学年末考查	

5 その他

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	スポーツ概論	単位数	1単位
		学年等	1年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	スポーツについての総合的な理解を通して、その知識を運動の主体的、合理的、計画的な実践に活用できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。
使用教科書 副教材等	教科書:大修館「基礎から学ぶ スポーツ概論」 副教材:授業用プリント

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・安全に留意した運動やスポーツの行い方について、正しく理解している。 ・スポーツ栄養の基礎知識について、正しく理解している。 ・スポーツの歴史や魅力について、正しく理解している。 ・現代スポーツの問題点やあり方、社会における役割などについて、正しく理解している。	・安全な運動実施の仕方について、比較、分類、分析を通して、判断し、説明している。 ・種目の特性に応じて、スポーツ選手に必要な食事(栄養素)を考え、説明している。 ・スポーツの歴史を踏まえ、これからのスポーツのあり方について自分なりに考え、説明している。	・運動やスポーツの安全な実施の仕方やスポーツ栄養について、事例などを用いたディスカッションや課題学習などの活動を通して、学習に主体的に取り組もうとしている。 ・スポーツの歴史や魅力、今後のあり方などについて、ディベートや調査の活動を通して、課題解決に向けて意欲的、主体的に取り組もうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	「基礎から学ぶ スポーツ概論」 第4章スポーツライフのマネジメントを考えよう 1自分の体をマネジメントしよう 2栄養でパフォーマンスを高めよう	筆記テスト 授業観察	筆記テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
2 学期	「基礎から学ぶ スポーツ概論」 第1章 スポーツについて考えよう 1スポーツの魅力について考えよう 2スポーツのこれからとこれまでを考えよう	筆記テスト 授業観察	筆記テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
3 学期	「基礎から学ぶ スポーツ概論」 第1章 スポーツについて考えよう 3現代スポーツの問題点を考えよう 4スポーツと社会について考えよう	筆記テスト 授業観察	筆記テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	○オリエンテーション ○スポーツライフのマネジメントを考えよう	12
	5	1 自分の体をマネジメントしよう 2 栄養でパフォーマンスを高めよう	
	6		
	7	パフォーマンステスト1:自主挑戦課題	
2 学期	8	○スポーツについて考えよう 1 スポーツの魅力について考えよう 2 スポーツのこれからとこれまでを考えよう	14
	9		
	10	パフォーマンステスト2:自主挑戦課題	
	11		
3 学期	12		9
	1	○スポーツについて考えよう 3 現代スポーツの問題点を考えよう 4 スポーツと社会について考えよう	
	2	○年間のまとめ パフォーマンステスト3:自主挑戦課題	
	3		

5 その他

安全や栄養など、体育・スポーツにおける自己マネジメントについての基礎知識の確実な定着をはかり、それらを自分で調整、改善できる力をつけてもらいたい。また、スポーツの魅力や問題点を踏まえ、現代スポーツの可能性を探り、将来、社会貢献できる資質や能力を培ってもらいたい。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	体育	単位数	2単位
		学年等	2年生普通

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	運動の合理的, 計画的な実践を通して, 知識を深めるとともに技能を高め, 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし, 自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て, 公正, 協力, 責任, 参画などに対する意欲を高め, 健康・安全を確保して, 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
使用教科書 副教材等	授業用個人シート 教科書;現代高等保健体育(大修館書店)…体育理論で使用

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的, 計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに, 目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し, 合理的, 計画的な解決に向けて, 課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに, それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう, 運動の合理的, 計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	曜日別選択制授業 (前期 A・B 種目からそれぞれ 1 種目選択) 体育理論 単元2「運動・スポーツの学び方」 第1・2章	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
2 学 期	曜日別選択制授業 (後期種目のうち、前期に選択していないものから1種目選択) 体育理論 単元2「運動・スポーツの学び方」 第3・4章	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
3 学 期	曜日別選択制授業 (2学期に選択した種目を継続) 体育理論 単元2「運動・スポーツの学び方」 第5・6章	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	4月に「体づくり」3時間実施 前期曜日別選択制授業…前期は4月～10月中旬までとする	25
	5	①A種目…器械, 陸上, 柔道, 剣道, ダンス ②B種目…球技	
	6	※「体育理論」は4月に1時間, 6月に2時間実施する。	
	7	1 スポーツにおける技能と体力 2 スポーツにおける技術と戦術	
		パフォーマンステスト1:自主挑戦課題	
2 学 期	8	8月に「体づくり」2時間実施 前期曜日別選択制授業	28
	9		
	10	後期種目選択(後期種目から1つ選択) …後期は10月中旬～3月末までとする	
	11	※「体育理論」は10月に2時間実施する。	
	12	3 技能の上達課程と練習 4 効果的な動きのメカニズム	
		パフォーマンステスト2:自主挑戦課題	
3 学 期	1	1月に「体づくり」2時間実施 後期種目…後期は10月中旬～3月末までとする	17
	2	※「体育理論」は2月に2時間実施する。	
	3	5 体カトレーニング 6 運動やスポーツでの安全の確保	
		パフォーマンステスト3:自主挑戦課題	

5 その他

2年次における体育では、体を動かすことが、情緒面や知的な発達を促し、集団的活動や身体表現などを通じてコミュニケーション能力を育成することや、筋道を立てて練習や作戦を考え、改善の方法などを互いに話し合う活動などを通じて論理的思考力をはぐくむことを目標としている。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	体育	単位数	2単位
		学年等	2年生体育

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	運動の合理的, 計画的な実践を通して, 知識を深めるとともに技能を高め, 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし, 自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て, 公正, 協力, 責任, 参画などに対する意欲を高め, 健康・安全を確保して, 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
使用教科書 副教材等	授業用個人シート 教科書;現代高等保健体育(大修館書店)…体育理論で使用

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的, 計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに, 目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し, 合理的, 計画的な解決に向けて, 課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに, それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう, 運動の合理的, 計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	曜日別選択制授業 (前期 A・B 種目からそれぞれ 1 種目選択) 体育理論 単元2「運動・スポーツの学び方」 第1・2章	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
2 学 期	曜日別選択制授業 (後期種目のうち、前期に選択していないものから1種目選択) 体育理論 単元2「運動・スポーツの学び方」 第3・4章	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
3 学 期	曜日別選択制授業 (2学期に選択した種目を継続) 体育理論 単元2「運動・スポーツの学び方」 第5・6章	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	4月に「体づくり」3時間実施 前期曜日別選択制授業…前期は4月～10月中旬までとする	25
	5	①A種目…器械, 陸上, 柔道, 剣道, ダンス ②B種目…球技	
	6	※「体育理論」は4月に1時間, 6月に2時間実施する。	
	7	1 スポーツにおける技能と体力 2 スポーツにおける技術と戦術	
		パフォーマンステスト1:自主挑戦課題	
2 学 期	8	8月に「体づくり」2時間実施 前期曜日別選択制授業	28
	9		
	10	後期種目選択(後期種目から1つ選択) …後期は10月中旬～3月末までとする	
	11	※「体育理論」は10月に2時間実施する。	
	12	3 技能の上達課程と練習 4 効果的な動きのメカニズム	
		パフォーマンステスト2:自主挑戦課題	
3 学 期	1	1月に「体づくり」2時間実施 後期種目…後期は10月中旬～3月末までとする	17
	2	※「体育理論」は2月に2時間実施する。	
	3	5 体カトレーニング 6 運動やスポーツでの安全の確保	
		パフォーマンステスト3:自主挑戦課題	

5 その他

2年次における体育では、体を動かすことが、情緒面や知的な発達を促し、集団的活動や身体表現などを通じてコミュニケーション能力を育成することや、筋道を立てて練習や作戦を考え、改善の方法などを互いに話し合う活動などを通じて論理的思考力をはぐくむことを目標としている。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	保健	単位数	1単位
		学年等	2年生全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれを適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。社会生活における健康の保持増進には、環境や食品、労働などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康にかかわる活動や対策が重要であることについて理解できるようにする。
使用教科書 副教材等	教科書；現代高等保健体育(大修館書店) 副教材；現代高等保健体育ノート(大修館書店)、授業用プリント

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生涯を通じる健康について、生涯の各段階における健康課題の解決に役立つ自らの適切な対応及び我が国の保健・医療制度や機関の適切な活用のための基礎的な事項を理解している。 健康を支える環境づくりについて、自他や社会の保持増進に関する課題の解決に役立つ環境と健康、食品と健康、保健・医療制度及び地域の保健・医療機関、様々な保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加についての基礎的な事項を理解している。	生涯を通じる健康について、生涯の各段階における健康課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。 健康を支える環境づくりについて、社会生活における健康の保持増進に関わる課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	生涯を通じる健康について、生涯の各段階における健康課題への自らの適切な対応及び我が国の保健・医療制度や機関の適切な活用が重要であることに関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 健康を支える環境づくりについて、社会生活における健康の保持増進には、環境と健康、食品と健康、保健・医療制度及び地域の保健・医療機関、様々な保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加が重要であることに関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	4 単元『健康を支える環境づくり』 第1・2・3・4・5・6章	期末考査	パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
		100 点	100 点	100 点
2学期	4 単元『健康を支える環境づくり』 第 7・8・9・10・11 章 3単元『生涯を通じる健康』 第 1・2・3 章	期末考査	パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
		100 点	100 点	100 点
3学期	3単元『生涯を通じる健康』 第 4・5・6・7・8・9・10章	期末考査	パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
		100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	4 単元『健康を支える環境づくり』 第1章 大気汚染と健康	10
	5	第2章 水質汚濁、土壌汚染と健康 第3章 環境と健康にかかわる対策 第4章 ごみの処理と上下水道の整備	
	6	第5章 食品の安全性 第6章 食品衛生にかかわる活動	
	7	パフォーマンステスト2:自主挑戦課題 1学期期末考查	
2 学期	8	4 単元『健康を支える環境づくり』 第7章 保健サービスとその活用	13
	9	第8章 医療サービスとその活用 第9章 医薬品の制度とその活用 第10章 さまざまな保健活動や社会的対策 第11章 健康に関する環境づくりと社会参加	
	10	3単元『生涯を通じる健康』 第1章 ライフステージと健康	
	11	第2章 思春期と健康 第3章 性意識と性行動の選択	
		パフォーマンステスト2:自主挑戦課題 2学期期末考查	
3 学期	1	3単元『生涯を通じる健康』 第4章 妊娠・出産と健康 第5章 避妊法と人工妊娠中絶	12
	2	第6章 結婚生活と健康 第7章 中高年期と健康 第8章 働くことと健康	
	3	第9章 労働災害と健康 第10章 健康的な職業生活	
		パフォーマンステスト3:自主挑戦課題 学年末考查	

5 その他

--

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	スポーツⅠ	単位数	1単位
		学年等	2年生体育

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として据え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質や能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)採点競技及び測定競技や球技、武道及び諸外国の対人的競技等の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。 (2)採点競技及び測定競技や球技、武道及び諸外国の対人的競技等における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)採点競技及び測定競技や球技、武道及び諸外国の対人的競技等の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。
使用教科書 副教材等	ステップアップ・スポーツ概論

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	スポーツで高まる体力やその高め方、学習する運動に関する行い方や学び方、運動を他者と学び合う際の動きや改善のポイントの示し方、仲間と継続的に活動するための調整の仕方、発表会や競技会における参加者の募集、運営方法や審判方法、初歩的な指導方法、様々な環境下で実践する際の健康・安全の確保の仕方やマナーなどの運動の多様な関わり方を実践するための事項を理解している。 スポーツの多様な楽しさや喜びを深く味わうための技能及び、角運動の学習を基に、他者に技能のポイントを拡張するなどしてわかりやすく表現するなどの技能や卒業後にスポーツを推進及び発展する際に求められる発表会や競技会などの企画や運営、健康、安全の確保、スポーツを通じた良好な人間関係を形成するなどに求められる技能を身に付けている。	生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたってスポーツを実践していくために、公正に取り組む、互いに協力する、事故の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、スポーツの推進及び発展に寄与する自己の姿勢や他者、地域社会との関わり方などのスポーツの価値を高めることに主体的に取り組もうとしている。
評価点	300 点	300 点	300 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	陸上競技・体操競技（種目選択）	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
2 学期	陸上競技・体操競技（種目選択）	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
3 学期	陸上競技・体操競技（種目選択）	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	陸上競技 [短距離走・ハードル走] 体操競技 [床運動] パフォーマンステスト1:自主挑戦課題	12
	5		
	6		
	7		
2 学期	8	陸上競技 [走り幅跳び・走り高跳び] 体操競技 [跳馬] パフォーマンステスト 2:自主挑戦課題	14
	9		
	10		
	11		
	12		
3 学期	1	陸上競技 [長距離走・投てき種目から選択] 体操競技 [鉄棒, 平均台] パフォーマンステスト3:自主挑戦課題	9
	2		
	3		

5 その他

2年次においては、体力を高めることに興味を持ち、各種目の特性や、技の名称、課題解決の方法、試合の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方法の基礎を学び、スキルの向上を目指してもらいたい。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	スポーツⅡ	単位数	1単位
		学年等	2年生体育

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として据え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質や能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)採点競技及び測定競技や球技、武道及び諸外国の対人的競技等の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。 (2)採点競技及び測定競技や球技、武道及び諸外国の対人的競技等における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)採点競技及び測定競技や球技、武道及び諸外国の対人的競技等の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。
使用教科書 副教材等	ステップアップ・スポーツ概論

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	スポーツで高まる体力やその高め方、学習する運動に関する行い方や学び方、運動を他者と学び合う際の動きや改善のポイントの示し方、仲間と継続的に活動するための調整の仕方、発表会や競技会における参加者の募集、運営方法や審判方法、初歩的な指導方法、様々な環境下で実践する際の健康・安全の確保の仕方やマナーなどの運動の多様な関わり方を実践するための事項を理解している。 スポーツの多様な楽しさや喜びを深く味わうための技能及び、角運動の学習を基に、他者に技能のポイントを拡張するなどしてわかりやすく表現するなどの技能や卒業後にスポーツを推進及び発展する際に求められる発表会や競技会などの企画や運営、健康、安全の確保、スポーツを通じた良好な人間関係を形成するなどに求められる技能を身に付けている。	生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたってスポーツを実践していくために、公正に取り組む、互いに協力する、事故の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、スポーツの推進及び発展に寄与する自己の姿勢や他者、地域社会との関わり方などのスポーツの価値を高めることに主体的に取り組もうとしている。
評価点	300 点	300 点	300 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	球技（種目選択）	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
2 学期	球技（種目選択）	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
3 学期	球技（種目選択）	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	ベースボール型（ソフトボール・野球から選択） パフォーマンステスト1:自主挑戦課題	12
	5		
	6		
	7		
2 学期	8	ネット型（バレーボール, 卓球, テニス, バドミントンから選択） パフォーマンステスト2:自主挑戦課題	14
	9		
	10		
	11		
	12		
3 学期	1	ゴール型（バスケットボール, ハンドボール, サッカーから選択） パフォーマンステスト3:自主挑戦課題	9
	2		
	3		

5 その他

2年次においては、体力を高めることに関心を持ち、各種目の特性や、技の名称、課題解決の方法、試合の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方法の基礎を学び、スキルの向上を目指してもらいたい。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	スポーツⅢ	単位数	1単位
		学年等	2年生体育

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として据え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質や能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)採点競技及び測定競技や球技、武道及び諸外国の対人的競技等の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。 (2)採点競技及び測定競技や球技、武道及び諸外国の対人的競技等における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)採点競技及び測定競技や球技、武道及び諸外国の対人的競技等の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。
使用教科書 副教材等	ステップアップ・スポーツ概論

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	スポーツで高まる体力やその高め方、学習する運動に関する行い方や学び方、運動を他者と学び合う際の動きや改善のポイントの示し方、仲間と継続的に活動するための調整の仕方、発表会や競技会における参加者の募集、運営方法や審判方法、初歩的な指導方法、様々な環境下で実践する際の健康・安全の確保の仕方やマナーなどの運動の多様な関わり方を実践するための事項を理解している。 スポーツの多様な楽しさや喜びを深く味わうための技能及び、角運動の学習を基に、他者に技能のポイントを拡張するなどしてわかりやすく表現するなどの技能や卒業後にスポーツを推進及び発展する際に求められる発表会や競技会などの企画や運営、健康、安全の確保、スポーツを通じた良好な人間関係を形成するなどに求められる技能を身に付けている。	生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたってスポーツを実践していくために、公正に取り組む、互いに協力する、事故の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、スポーツの推進及び発展に寄与する自己の姿勢や他者、地域社会との関わり方などのスポーツの価値を高めることに主体的に取り組もうとしている。
評価点	300 点	300 点	300 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	武道（種目選択）	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
2 学期	武道（種目選択）	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
3 学期	武道（種目選択）	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	武道(柔道, 剣道から選択) パフォーマンステスト1:自主挑戦課題	12
	5		
	6		
	7		
2 学期	8	武道(柔道, 剣道から選択) パフォーマンステスト2:自主挑戦課題	14
	9		
	10		
	11		
	12		
3 学期	1	武道(柔道, 剣道から選択) パフォーマンステスト3:自主挑戦課題	9
	2		
	3		

5 その他

2年次においては、体力を高めることに興味を持ち、各種目の特性や、技の名称、課題解決の方法、試合の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方法の基礎を学び、スキルの向上を目指してもらいたい。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	スポーツアスリート学Ⅰ	単位数	2単位
		学年等	2年生体育コース・アスリート類型

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	〔目標〕 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、アスリートに求められる競技力の向上を図るための資質・能力を以下のとおり育成する。 (1) スポーツにおける競技力向上の方法について理解するとともに、その向上に必要な基礎的な技能を身に付ける。 (2) スポーツにおける競技力向上に必要な自他の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) アスリートに求められる競技力の向上を図るための学習に、主体的に取り組む態度を養う。
使用教科書 副教材等	

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	スポーツにおける競技力向上の方法について理解するとともに、その向上に必要な基礎的な技能を身に付けている。	スポーツにおける競技力向上に必要な自他の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。	アスリートに求められる競技力の向上を図るための学習に、主体的に取り組もうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	(1)アスリートの基礎	筆記テスト 授業観察	プレゼンテスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
2 学 期	(2)アスリートのコンディショニングⅠ	筆記テスト 授業観察	プレゼンテスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
3 学 期	(3)アスリートのコンディショニングⅡ	筆記テスト 授業観察	プレゼンテスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	○ オリエンテーション	2
	5	(1) アスリートの基礎	14
	6	(ア) コンディショニングとは (イ) トレーニングの原理・原則 (ウ) 目標達成について (エ) 時間管理について (オ) ロールモデル講演会【プロ・実業団等】 (カ) 体重・体組成・筋力測定	
	7	探究活動1:プレゼン・パフォーマンステスト	2
2 学期	8・9	(2) アスリートのコンディショニングⅠ (ア) 技術面 ・各種目の技術について	8
	10	(イ) 体力面 ・各種トレーニングについて	8
	11	(ウ) 精神面 ・メンタルトレーニング・目標設定について	8
	12	探究活動2:プレゼン・パフォーマンステスト	2
		課題テスト:筆記テスト	
3 学期	1	(3) アスリートのコンディショニングⅡ (ア) 栄養面 ・アスリートに必要な食事について	8
	2	(イ) 環境面 ・ストレッチ、ウォーミングアップ、クールダウン	8
	3	(ウ) 医療面 ・ケアやテーピングについて	8
		探究活動3:プレゼン・パフォーマンステスト	2
		課題テスト:筆記テスト	



5 その他

○学んだことをプレゼン形式で発表させる。それにより、単なる知識の詰め込みではなく、学んだことを自分なりにまとめ、発表する主体的で深い学びになるよう取り組む。その際、ペア学習やグループ学習を効果的に活用する。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	スポーツマネジメント学Ⅰ	単位数	2単位
		学年等	2年生[体育コース・マネジメント類型]

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、スポーツの運営・ビジネス・マーケティングなどに関する基礎知識を学び、スポーツを支える様々な仕事や仕組みを理解する力を育成する。また、グループ活動や実践的な学習を通じて、チームワークや企画力を養う。 (1)スポーツマネジメントの基本的な考え方を理解するとともに、その向上に必要な専門的な知識を身に付ける。 (2)スポーツイベントやチーム運営の仕組みを知るために必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)小規模なスポーツイベントの企画・運営を行う中で、主体的に取り組む態度を養う。
使用教科書 副教材等	

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	スポーツマネジメントの基本的な考え方を理解するとともに、その向上に必要な基礎的な知識を身に付けている。	スポーツイベントやチーム運営の仕組みを知るために必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。	小規模なスポーツイベントの企画・運営を行う中で、主体的に取り組もうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	1. スポーツマネジメントの基礎 (1)スポーツマネジメントとは (2)スポーツとビジネスの関係	筆記テスト 授業観察	交流会 レポート	ワークシート 授業観察
	評価点	100点	100点	100点
2 学期	2. スポーツイベントの運営 (1)スポーツイベントの企画と準備 (2)イベントの運営と実施	筆記テスト 授業観察	交流会 レポート	ワークシート 授業観察
	評価点	100点	100点	100点
3 学期	3. スポーツマーケティングとファンビジネス (1)スポーツマーケティングの基本 (2)ファンエンゲージメント	筆記テスト 授業観察	プレゼンテーション レポート	ワークシート 授業観察
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学 期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	○オリエンテーション	2
	5	1. スポーツマネジメントの基礎 (1) スポーツマネジメントとは (ア) スポーツマネジメントの定義と役割 (イ) スポーツを支える仕事(チーム運営、イベント企画、マーケティング) (ウ) スポーツ産業の現状(国内外の市場規模)	8
	6	(2) スポーツとビジネスの関係 (ア) スポーツの経済的価値 (イ) プロスポーツとアマチュアスポーツの違い (ウ) スポーツの収益源(スポンサー、チケット、放映権、グッズ)	8
	7	探究活動1:幼稚園交流会 課題テスト:筆記テスト	2
2 学 期	8・9	2. スポーツイベントの運営 (1) スポーツイベントの企画と準備 (ア) イベントの種類(大会・競技会・地域イベント) (イ) 企画立案の手順(目的設定、ターゲット分析、実行計画) (ウ) 予算の考え方	16
	10・11	(2) イベントの運営と実施 (ア) 運営チームの役割(競技運営、広報、会場設営、審判) (イ) ボランティアの活用 (ウ) 実際のイベント運営の流れ(事前準備～当日運営～事後評価)	16
	12	探究活動2:小学校交流会 課題テスト:筆記テスト	2
3 学 期	1	3. スポーツマーケティングとファンビジネス (1) スポーツマーケティングの基本 (ア) スポーツブランドとは何か (イ) スポンサーシップの仕組み (ウ) スポーツ広告とメディアの影響	8
	2	(2) ファンエンゲージメント (ア) ファンを増やすための戦略 (イ) SNS を活用した情報発信 (ウ) スポーツと地域活性化(地域密着型クラブの成功事例)	8
		探究活動3:プレゼンテーション 課題テスト:筆記テスト	2

5 その他

交流会をすることによりより深くイベントの企画・運営を学び、学んだことをプレゼン形式で発表させる。それにより、単なる知識の詰め込みではなく、学んだことを自分なりにまとめ、発表する主体的で深い学びになるよう取り組む。その際、ペア学習やグループ学習を効果的に活用する。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	スポーツアスリート学Ⅱ	単位数	2単位
		学年等	3年生[体育コース・アスリート類型]

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、アスリートに求められる総合的な競技力の向上を図るための資質・能力を以下のとおり育成する。 (1)スポーツにおける競技力向上の方法について科学的に理解するとともに、その向上に必要な専門的な技能を身に付ける。 (2)スポーツにおける競技力向上に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)アスリートに求められる総合的な競技力の向上を図るための学習に、主体的に取り組む態度を養う。
使用教科書 副教材等	

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	スポーツにおける競技力向上の方法について科学的に理解するとともに、その向上に必要な専門的な技能を身に付けている。	スポーツにおける競技力向上に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。	アスリートに求められる総合的な競技力の向上を図るための学習に、主体的に取り組もうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	(1)アスリートと社会(地域)のつながり	筆記テスト 授業観察	プレゼンテスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
2	(2)アスリートのコンディショニング研究	筆記テスト 授業観察	プレゼンテスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
3	(3)アスリートのコンディショニング発表	筆記テスト 授業観察	プレゼンテスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	○ オリエンテーション	2
		(1) アスリートと社会(地域)のつながり	14
	5	(ア) ロールモデル講演会【プロ・実業団等】	
	6	(イ) アスリートと社会(地域)のつながり (ウ) 専門的に学ぶことの選択(2年次に学習した6つの側面から)	
	7	探究活動1:プレゼン・パフォーマンステスト 課題テスト:筆記テスト	2
2	8・9	(2) アスリートのコンディショニング発表 (ア) 選択した側面の専門的学習	16
	10・11	(イ) 選択した側面と自分の専攻実技との関連を研究	16
	12	探究活動2:プレゼン・パフォーマンステスト 課題テスト:筆記テスト	2
3	1	(3) アスリートのコンディショニング発表 (ア) 選択した側面と自分の専攻実技との関連を発表	16
	2	探究活動3:プレゼン・パフォーマンステスト 課題テスト:筆記テスト	2

5 その他

学んだことをプレゼン形式で発表させる。それにより、単なる知識の詰め込みではなく、学んだことを自分なりにまとめ、発表する主体的で深い学びになるよう取り組む。その際、ペア学習やグループ学習を効果的に活用する。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	スポーツマネジメント学Ⅱ	単位数	2単位
		学年等	3年生[体育コース・マネジメント類型]

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、より実践的なスポーツイベントの運営やチームマネジメントを学び、実際のスポーツイベントの企画・運営を行い、現場での課題解決能力を養い、スポーツ業界の未来を考える力をつける。 (1) スポーツイベントの企画・運営について理解するとともに、その向上に必要な専門的な知識を身に付ける。 (2) 地域や社会との関わりを考え、スポーツを活用したプロジェクトを提案するために必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) スポーツイベントの企画・運営を行う中で、主体的に取り組む態度を養う。
使用教科書 副教材等	

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	スポーツイベントの企画・運営について理解するとともに、その向上に必要な実践的な知識を身に付けている。	地域や社会との関わりを考え、スポーツを活用したプロジェクトを提案するために必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。	スポーツイベントの企画・運営を行う中で、主体的に取り組もうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	1. スポーツマネジメントの応用 (1) スポーツイベントの運営について (2) イベントのリスクマネジメント	筆記テスト 授業観察	プレゼンテーション レポート	ワークシート 授業観察
	評価点	100点	100点	100点
2 学期	2. 実践プロジェクト(スポーツイベント企画・運営) (1) スポーツイベントの企画 (2) イベントの実施・運営	筆記テスト 授業観察	イベント レポート	ワークシート 授業観察
	評価点	100点	100点	100点
3 学期	3. スポーツと社会・地域貢献 (1) スポーツと SDGs (2) 地域スポーツとまちづくり	筆記テスト 授業観察	プレゼンテーション レポート	ワークシート 授業観察
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学 期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	○オリエンテーション	2
	5	(1)スポーツイベントの運営 (ア)スポーツイベントの種類(プロ・アマ・地域・国際大会) (イ)イベント運営の基本プロセス(企画、準備、実施、振り返り) (ウ)成功事例・失敗事例の分析	9
	6	(2)イベントのリスクマネジメント スポーツイベントの安全対策・危機管理 予算管理とスポンサーシップの役割 トラブル対応とリスク回避	8
	7	課題テスト:筆記テスト	1
2 学 期	8・9	2. 実践プロジェクト(スポーツイベント企画・運営) (1)スポーツイベントの企画 (ア)実際にスポーツイベントを企画・計画 (イ)企画書作成、予算・スケジュールの立案 (ウ)プレゼンテーションとフィードバック	16
	10・11	(2)イベントの実施・運営 (ア)イベント当日の役割分担と実施 (イ)参加者の満足度調査と分析 (ウ)運営の振り返りと改善点の考察	16
	12	探究活動2:スポーツ大会 課題テスト:筆記テスト	2
3 学 期	1	3. スポーツと社会・地域貢献 (1)スポーツと SDGs (ア)スポーツを通じた社会課題解決(環境・ジェンダー・教育) (イ)障がい者スポーツとインクルーシブ社会 (ウ)スポーツボランティアの役割	8
	2	(2)地域スポーツとまちづくり (ア)地域スポーツクラブの経営と運営 (イ)地域イベントと観光振興の関係 (ウ)スポーツ施設の活用と公共政策	8
		探究活動3:プレゼンテーション 課題テスト:筆記テスト	2

5 その他

交流会をすることによりより深くイベントの企画・運営を学び、学んだことをプレゼン形式で発表させる。それにより、単なる知識の詰め込みではなく、学んだことを自分なりにまとめ、発表する主体的で深い学びになるよう取り組む。その際、ペア学習やグループ学習を効果的に活用する。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	体育	単位数	2単位
		学年等	3年生普通

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	運動の合理的, 計画的な実践を通して, 知識を深めるとともに技能を高め, 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし, 自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て, 公正, 協力, 責任, 参画などに対する意欲を高め, 健康・安全を確保して, 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
使用教科書 副教材等	授業用個人シート 教科書; 現代高等保健体育(大修館書店)…体育理論で使用 副教材; ステップアップ高校スポーツ 2023(大修館書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的, 計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに, 目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し, 合理的, 計画的な解決に向けて, 課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに, それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう, 運動の合理的, 計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	曜日別選択制授業(通年で1種目選択) A種目・B種目・C種目 体育理論 単元 3 第1・2・3章	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
2 学期	曜日別選択制授業(通年で1種目選択) A種目・B種目・C種目 体育理論 単元 3 第4・5章	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
3 学期	曜日別選択制授業(通年で1種目選択) A種目・B種目・C種目 体育理論 単元 3 第6章	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	4月に「体づくり」3時間実施 前期曜日別選択制授業…前期は4月～10月中旬までとする	25
	5	①A種目…器械, 陸上, 柔道, 剣道, ダンス ②B種目…球技	
	6	※「体育理論」は4月に1時間, 6月に2時間実施する。	
	7	パフォーマンステスト1:自主挑戦課題	
2 学 期	8	8月に「体づくり」2時間実施 前期曜日別選択制授業, 後期種目選択(AB種目から1つ選択)	28
	9	…後期は10月中旬～3月末までとする	
	10	※「体育理論」は10月に2時間実施する。	
	11	パフォーマンステスト2:自主挑戦課題	
3 学 期	1	1月に「体づくり」2時間実施 後期種目選択(AB種目から1つ選択) …後期は10月中旬～3月末までとする	17
	2	※「体育理論」は2月に1時間実施する。	
	3	パフォーマンステスト3:自主挑戦課題	

5 その他

特記事項なし

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	体育	単位数	3単位
		学年等	3年生体育

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	運動の合理的, 計画的な実践を通して, 知識を深めるとともに技能を高め, 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし, 自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て, 公正, 協力, 責任, 参画などに対する意欲を高め, 健康・安全を確保して, 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
使用教科書 副教材等	授業用個人シート 教科書;現代高等保健体育(大修館書店)…体育理論で使用 副教材;ステップアップ高校スポーツ 2023(大修館書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的, 計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに, 目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し, 合理的, 計画的な解決に向けて, 課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに, それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう, 運動の合理的, 計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	曜日別選択制授業(通年で1種目選択) A種目・B種目・C種目 体育理論 単元 3 第1・2・3章	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
2 学期	曜日別選択制授業(通年で1種目選択) A種目・B種目・C種目	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
3 学期	曜日別選択制授業(通年で1種目選択) A種目・B種目・C種目 体育理論 単元 3 第4・5・6章	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	「前期」曜日別授業…前期は4月から10月中旬まで ①A種目＝器械, 陸上, 柔道, 剣道, ダンス	36
	5	②B種目＝球技(ゴール型, ネット型) ※A種目は1時間, B種目は2時間連続授業	
	6	※「体育理論」は4月に1時間, 6月に2時間実施する。	
	7	パフォーマンステスト1:自主挑戦課題	
2 学 期	8	8月に「体づくり」2時間実施 「前期」曜日別授業…前期は4月から10月中旬まで	40
	9	「後期」曜日別授業…後期は10月中旬から3月末まで A種目＝前期選択種目以外を選択	
	10	B種目＝球技(ゴール型, ネット型, ベースボール型)前期選択種目以外を選択	
	11	※「体育理論」は10月に2時間実施する。	
3 学 期	12	パフォーマンステスト2:自主挑戦課題	29
	1	1月に「体づくり」2時間実施 「後期」曜日別授業…後期は10月中旬から3月末まで	
	2	A種目＝前期選択種目以外を選択 B種目＝球技(ゴール型, ネット型, ベースボール型)前期選択種目以外を選択	
	3	※「体育理論」は2月に1時間実施する。 パフォーマンステスト3:自主挑戦課題	

5 その他

特記事項なし

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	キャリア探究基礎	単位数	2単位
		学年等	1年生体育

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	探究の見方・考え方を働かせ、地域社会を担う生き方や働き方を考えながら、地域の活性化に向けた課題を解決するために必要な基本的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)地域に関わる様々な事象について探究するために必要な基本的な知識及び技能を身に付けるようにする。 (2)多角的、複合的に事象を捉え、地域の活性化に向けた課題を解決するための基本的な力を養う。 (3)地域に関わる様々な事象や地域の活性化に向けた課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。
使用教科書 副教材等	

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	探究の過程において、地域に関わる課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けている。	多角的、複合的に事象を捉え、地域の活性化に向けた課題について、自ら課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	探究の過程を通して、地域に関わる様々な事象や地域の活性化に向けた課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	・探究活動 ・キャリア講義	・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析	・授業中の行動観察 ・パフォーマンス課題	・課題提出等 ・パフォーマンス課題
	評価点	100点	100点	100点
2 学期	・探究活動	・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析	・授業中の行動観察 ・パフォーマンス課題	・課題提出等 ・パフォーマンス課題
	評価点	100点	100点	100点
3 学期	・探究活動 ・プレゼンテーション	・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析	・授業中の行動観察 ・パフォーマンス課題	課題提出等 ・パフォーマンス課題
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	○オリエンテーション ○キャリアプランの作成 ○キャリア講義	24
	5	外部講師(プロスポーツ選手、トップレベルの指導者、スポーツトレーナー、スポーツ用品企業の経営者、スポーツ振興団体の職員等)の講義	
	6	○探究基礎の習得 ①課題の設定②情報の収集③整理・分析④まとめ・表現⑤振り返り	
	7	○探究活動見学 パフォーマンス課題1:自主挑戦課題	
2 学期	8	○探究活動Ⅰ 共通テーマ【地域とスポーツ】	28
	9	○探究活動Ⅱ 9つの学習テーマから1つを選択し、探究活動を行う	
	10	○探究活動Ⅲ 9つの学習テーマから1つを選択し、探究活動を行う	
	11	パフォーマンス課題2:自主挑戦課題	
3 学期	12		
	1	○探究活動Ⅲ 9つの学習テーマから1つを選択し、探究活動を行う	18
	2	○ポスター発表 →1年間で学習した内容について成果をまとめ、発表を行う。	
	3	パフォーマンス課題3:ポスター課題	

5 その他

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	キャリア探究	単位数	2単位
		学年等	2年生体育

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	探究の見方・考え方を働かせ、地域社会を担う生き方や働き方を考えながら、地域の活性化に向けた課題を解決するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)地域に関わる様々な事象について探究するために必要な知識及び技能を身に付けるようにする。 (2)多角的、複合的に事象を捉え、地域の活性化に向けた課題を解決するための力を養うとともに創造的な力を高める。 (3)地域に関わる様々な事象や地域の活性化に向けた課題に主体的に向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決や新たな価値の創造に向けて積極的に挑戦しようとする態度、探究の過程を振り返って評価・改善しようとする態度及び倫理的な態度を養う。
使用教科書 副教材等	

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	探究の過程において、地域に関わる課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けている。	多角的、複合的に事象を捉え、地域の活性化に向けた課題について、自ら課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	地域に関わる様々な事象や地域の活性化に向けた課題に主体的に向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決や新たな価値の創造に向けて積極的に挑戦しようとする態度、探究の過程を振り返って評価・改善しようとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	・探究活動 ・集中講義	・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析	・授業中の行動観察 ・パフォーマンス課題	・課題提出等 ・パフォーマンス課題
	評価点	100点	100点	100点
2 学 期	・探究活動 ・地域交流活動 ・集中講義	・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析	・授業中の行動観察 ・パフォーマンス課題	・課題提出等 ・パフォーマンス課題
	評価点	100点	100点	100点
3 学 期	・探究活動 ・集中講義 ・プレゼンテーション	・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析	・授業中の行動観察 ・パフォーマンス課題	- 課題提出等 ・パフォーマンス課題
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	○オリエンテーション 学習分野を決定し、自己やグループの学習テーマを設定する	24
	5	○探究活動 【普通科・体育コース】 10の学習分野(陸上競技、水泳競技、サッカー、バレーボール、剣道、柔道、体操競技、トレーニング理論・実践、動画分析、地域とスポーツ)の中から1つ選択し、「スポーツを通じた地域活性化」を目指し、グループで学習テーマを設定し、探究活動を行う	
	6		
	7	○集中講義【全学年】 外部講師(プロスポーツ選手、実業団選手)の講義 ※自己のキャリアに応じて、選択する パフォーマンス課題1:自主挑戦課題	
2 学 期	8	○探究活動 【普通科・体育コース】 10の学習分野(陸上競技、水泳競技、サッカー、バレーボール、剣道、柔道、体操競技、トレーニング理論・実践、動画分析、地域とスポーツ)の中から1つ選択し、「スポーツを通じた地域活性化」を目指し、グループで学習テーマを設定し、探究活動を行う。	28
	9		
	10		
	11	○集中講義【全学年】 外部講師(トップレベルの指導者)の講義 ※自己のキャリアに応じて、選択する パフォーマンス課題2:自主挑戦課題	
3 学 期	12		18
	1	○探究活動 【普通科・体育コース】 10の学習分野(陸上競技、水泳競技、サッカー、バレーボール、剣道、柔道、体操競技、トレーニング理論・実践、動画分析、地域とスポーツ)の中から1つ選択し、「スポーツを通じた地域活性化」を目指し、グループで学習テーマを設定し、探究活動を行う	
	2		
	3	○プレゼンテーション発表(グループ別) →1年間で学習した内容について成果をまとめ、発表を行う。 パフォーマンス課題3:プレゼンテーション課題	

5 その他

--

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	キャリア探究	単位数	2単位
		学年等	3年生[普通科・体育コース]

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	探究の見方・考え方を働かせ、地域社会を担う生き方や働き方を考えながら、地域の活性化に向けた課題を解決するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)地域に関わる様々な事象について探究するために必要な知識及び技能を身に付けるようにする。 (2)多角的、複合的に事象を捉え、地域の活性化に向けた課題を解決するための力を養うとともに創造的な力を高める。 (3)地域に関わる様々な事象や地域の活性化に向けた課題に主体的に向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決や新たな価値の創造に向けて積極的に挑戦しようとする態度、探究の過程を振り返って評価・改善しようとする態度及び倫理的な態度を養う。
使用教科書 副教材等	

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	探究の過程において、地域に関わる課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けている。	多角的、複合的に事象を捉え、地域の活性化に向けた課題について、自ら課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	地域に関わる様々な事象や地域の活性化に向けた課題に主体的に向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決や新たな価値の創造に向けて積極的に挑戦しようとする態度、探究の過程を振り返って評価・改善しようとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	・探究活動 ・集中講義	・授業中の行動観察 ・実技テスト ・ワークシートの記述分析	・授業中の行動観察 ・パフォーマンス課題	・課題提出等 ・パフォーマンス課題
	評価点	100点	100点	100点
2 学 期	・探究活動 ・集中講義	・授業中の行動観察 ・実技テスト ・ワークシートの記述分析	・授業中の行動観察 ・パフォーマンス課題	・課題提出等 ・パフォーマンス課題
	評価点	100点	100点	100点
3 学 期	・探究活動 ・集中講義 ・プレゼンテーション	・授業中の行動観察 ・実技テスト ・ワークシートの記述分析	・授業中の行動観察 ・パフォーマンス課題	- 課題提出等 ・パフォーマンス課題
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	○オリエンテーション	24
	5	○探究活動 【普通科・体育コース】 10の学習テーマ(陸上競技・水泳競技・サッカー・バレーボール・剣道・柔道・体操競技・トレーニング理論実践・動画分析・地域とスポーツ)の中から1つの学習テーマを選択し、学習する。	
	6	○集中講義 外部講師(プロスポーツ選手、トップレベルの指導者、スポーツトレーナー、スポーツ用品企業の経営者、スポーツ振興団体の職員等)の講義	
	7	パフォーマンス課題1:自主挑戦課題	
2 学 期	8	○探究活動 【普通科・体育コース】	28
	9	10の学習テーマ(陸上競技・水泳競技・サッカー・バレーボール・剣道・柔道・体操競技・トレーニング理論実践・動画分析・地域とスポーツ)の中から1つの学習テーマを選択し、学習する。	
	10	○集中講義 外部講師(プロスポーツ選手、トップレベルの指導者、スポーツトレーナー、スポーツ用品企業の経営者、スポーツ振興団体の職員等)の講義	
	11	パフォーマンス課題2:自主挑戦課題	
3 学 期	12		18
	1	○探究活動 【普通科・体育コース】 10の学習テーマ(陸上競技・水泳競技・サッカー・バレーボール・剣道・柔道・体操競技・トレーニング理論実践・動画分析・地域とスポーツ)の中から1つの学習テーマを選択し、学習する。	
	2	○集中講義 外部講師(プロスポーツ選手、トップレベルの指導者、スポーツトレーナー、スポーツ用品企業の経営者、スポーツ振興団体の職員等)の講義	
	3	○研究発表 →2年間で学習した内容について成果をまとめ、発表を行う。 パフォーマンス課題3:研究発表	

5 その他

--

令和 7 年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	専攻実技	単位数	2単位
		学年等	1年生体育

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	各種目の専門性の向上、及び体力の向上を目指し、高度な知識と運動技能を修得し競技力向上や体力の向上を図るとともに、心身共に健全で生涯にわたりスポーツを愛し、スポーツの振興と発展に寄与する人材を育成する。 (1)各種目の専門性の向上、及び体力の向上方法についての知識を理解するとともに、競技力向上及び体力の向上をさせるために必要な基礎的な技能を身につけるようにする。 (2)チームや個人の課題を発見し、思考し判断するとともに他者に伝える力を養う。 (3)公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、スポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。
使用教科書 副教材等	ステップアップ、基礎から学ぶスポーツ概論、VTR教材など

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	各種目の専門性の向上、及び体力の向上方法についての知識を理解するとともに、競技力向上及び体力の向上をさせるために必要な基礎的な技能を身につけている。	チームや個人の課題を発見し、思考し判断するとともに他者に伝える力を身に付けている。	公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、スポーツの推進及び発展に寄与する態度を身につけている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	・オリエンテーション、種目選択 ・個人の目標設定【長期・中期・短期】 ・各種目や体力の向上に応じた基礎的な練習 ・1学期の取組への振り返り【個人】	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンス テスト	課題提出 パフォーマンス テスト
	評価点	100点	100点	100点
2 学 期	・各種目または体力の向上に応じた実践的及び基礎的な練習 ・2学期の取組への振り返り【個人】	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンス テスト	課題提出 パフォーマンス テスト
	評価点	100点	100点	100点
3 学 期	・各種目の競技力向上や体力の向上に向けての取組 ・1年間の各種目の取組への振り返り	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンス テスト	課題提出 パフォーマンス テスト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	○オリエンテーション、種目選択 ○個人の目標設定【長期・中期・短期】	24
	5	○各種目や体力の向上に応じた基礎的な練習	
	6	○チームや個人の課題を発見し、改善するための練習	
	7	○1学期の取組への振り返り【個人】 パフォーマンステスト1:自主挑戦課題	
2 学期	8	○各種目または体力の向上に応じた基礎的な練習	30
	9	○各種目や体力の向上の基礎的な技術、コーチング方法、審判法、コンディショニングづくり等の知識の習得	
	10	○コーチング方法、審判法、コンディショニングづくり等の実践	
	11	○チームや個人の課題改善に対しての練習	
	12	○2学期の取組への振り返り【個人】 パフォーマンステスト2:自主挑戦課題	
3 学期	1	○各種目の競技力向上や体力の向上に向けての取組	16
	2	○次年度へ向けて競技力向上や体力の向上を図るための練習方法の計画	
	3	○1年間の各種目の取組への振り返り【個人・チーム】 パフォーマンステスト3:自主挑戦課題	

5 その他

1年次においては、競技力向上や体力の向上のための課題解決方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方法の基礎を学び、スキルの向上を目指してもらいたい。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	専攻実技	単位数	2単位
		学年等	2年生体育

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	各種目の専門性の向上、及び体力の向上を目指し、高度な知識と運動技能を修得し競技力向上や体力の向上を図るとともに、心身共に健全で生涯にわたりスポーツを愛し、スポーツの振興と発展に寄与する人材を育成する。 (1)各種目の専門性の向上、及び体力の向上方法についての知識を理解するとともに、競技力向上及び体力の向上をさせるために必要な発展的な技能を身につけるようにする。 (2)チームや個人の課題を発見し、思考し判断するとともに他者に伝える力を養う。 (3)公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、スポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。
使用教科書 副教材等	ステップアップ, 基礎から学ぶスポーツ概論, VTR教材など

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	各種目の専門性の向上、及び体力の向上方法についての知識を理解するとともに、競技力向上及び体力の向上をさせるために必要な発展的な技能を身につける。	チームや個人の課題を発見し、思考し判断するとともに他者に伝える力を身につける。	公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、スポーツの推進及び発展に寄与する態度を身につける。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	・オリエンテーション、種目選択 ・個人の目標設定【長期・中期・短期】 ・各種目や体力の向上に応じた発展的な練習 ・1学期の取組への振り返り【個人】	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
2 学期	・各種目または体力の向上に応じた実践的及び基礎的な練習 ・2学期の取組への振り返り【個人】	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
3 学期	・各種目の競技力向上や体力の向上に向けての取組 ・1年間の各種目の取組への振り返り	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	○オリエンテーション、種目選択 ○個人の目標設定【長期・中期・短期】	24
	5	○各種目や体力の向上に応じた基礎的な練習	
	6	○チームや個人の課題を発見し、改善するための練習	
	7	○1学期の取組への振り返り【個人】 パフォーマンステスト1:自主挑戦課題	
2 学期	8	○各種目または体力の向上に応じた基礎的な練習	30
	9	○各種目や体力の向上の基礎的な技術、コーチング方法、審判法、コンディショニングづくり等の知識の習得	
	10	○コーチング方法、審判法、コンディショニングづくり等の実践	
	11	○チームや個人の課題改善に対しての練習	
	12	○2学期の取組への振り返り【個人】 パフォーマンステスト2:自主挑戦課題	
3 学期	1	○各種目の競技力向上や体力の向上に向けての取組	16
	2	○次年度へ向けて競技力向上や体力の向上を図るための練習方法の計画	
	3	○1年間の各種目の取組への振り返り【個人・チーム】 パフォーマンステスト3:自主挑戦課題	

5 その他

2年次においては、競技力向上や体力の向上のための課題解決方法などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための発展的な取り組み方法を学び、スキルの向上を目指してもらいたい。

令和7年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	専攻実技	単位数	2単位
		学年等	3年生体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	スポーツの見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目標とする。 (1)スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付ける。 (2)スポーツの推進及び発展についての自他や社会の課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与することを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
使用教科書 副教材等	ステップアップ、基礎から学ぶスポーツ概論、VTR教材など

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	選択した運動の技術(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。	選択した運動の自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、スポーツの推進及び発展に向けた視点を持ち、課題に応じた運動の取り組み方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	・オリエンテーション ・個人の目標設定【長期・中期・短期】 ・各種目に応じた基礎的な練習 ・1学期の取組への探究活動【個人】	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
2 学 期	・各種目に応じた実践的及び応用練習 ・競技会の実施・運営 ・2学期の取組への探究活動【個人】	実技テスト 小テスト	実技テスト パフォーマンステスト	課題提出 パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点
3	・競技会への探究活動	実技テスト	実技テスト	課題提出

学 期	・各種目の競技レベル向上に向けての取組 ・研究発表(各種目) ・1年間の各種目の取組への探究活動	小テスト	パフォーマンステスト	パフォーマンステスト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	○オリエンテーション ○個人の目標設定【長期・中期・短期】 ○講習会(スポーツメンタル)	36
	5	○講習会(スポーツ栄養学)	
	6	○各種目に応じた基礎的な練習 ○競技会の運営方法の知識の習得 ○各種目の合理的な技術、コーチング方法、審判法、コンディショニングづくり等への知識の習得	
	7	○1学期の取組への探究活動【個人】 パフォーマンステスト1:自主挑戦課題	
2 学 期	8	○各種目に応じた実践的な練習	42
	9	○競技会の運営についての企画 ○各種目に応じた応用的練習	
	10	○各種目の合理的な技術、コーチング方法、審判法、コンディショニングづくり等の実践 ○講習会(フィジカルトレーニング) ○競技会の実施・運営	
	11	○2学期の取組への探究活動【個人】 パフォーマンステスト2:自主挑戦課題	
3 学 期	1	○競技会への探究活動 ○各種目の競技レベル向上に向けての取組 ○講習会(メディカルケア)	27
	2	○次年度へ向けて競技力向上を図るための練習方法の計画 ○研究発表(各種目) ○1年間の各種目の取組への探究活動	
	3	【個人・チーム】 パフォーマンステスト3:自主挑戦課題	

5 その他

1年次においては、体力を高めることに興味を持ち、各種目の特性や、課題解決の方法、試合の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方法の基礎を学び、スキルの向上を目指してもらいたい。